Panasonic®

取扱説明書
デジタルカメラ

品番 DMC-LS75

このたびは、デジタルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（4 ～ 7 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

はじめに

準備

基本

応用・撮る

応用・見る

他の機器との接続

その他 Q&A

保証書別添付　上手に使って上手に節電

VQT1C62

もくじ

はじめに

準備

基本

応用・撮る

「安全上のご注意」を必ずお読みください。（4～7ページ）

応用・見る

他の機器との接続

その他・Q&A

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、区分表示しています。**

	警告	「死亡や重傷などの可能性が想定される」内容です。
	注意	「傷害や物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

電池の液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは…

- 失明やけがの恐れがあるので、こすらずに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗い流したあと、すぐに医師の治療を受ける
- 使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

⚠警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

雷が鳴り出したら、本機の金属部に触れない

分解や改造はしない、ぬらさない、異物を入れない

内部には、電圧の高い部分があります。

異常時には、電池を取り出す

- 内部がぬれたり、金属や異物が入ったとき
- 落として、外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音がしたとき

■ **修理や点検、異常時は、そのまま使わず、お買い上げの販売店にご相談ください。**

⚠警告

乗り物を運転しながら使わない

歩行中も周囲や路面の状況に十分注意してください。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

メモリーカード（別売）

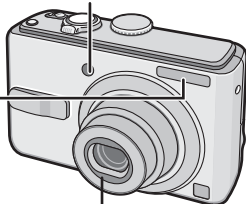
フラッシュ発光部

至近距離（数cm）で直接見ない

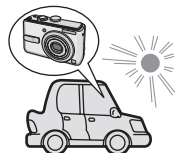
AF補助光も直接見ない，発光直後に直接触らない

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

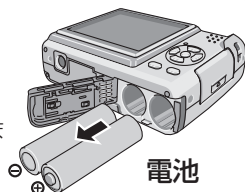
⚠注意

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

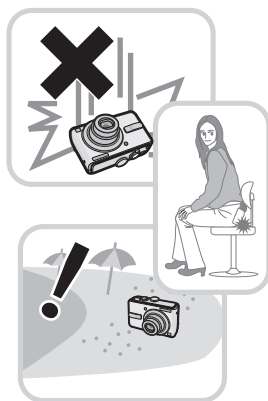
集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

次のような場所に放置しない

- 異常に温度が高くなるところ（特に真夏の車内やトランクなど）
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 重いものの下

下記により、火災や感電、けがの原因になることがあります。
・高温や重量による製品の劣化や破損
・油や水分、ほこりによる通電
・本機に乗っての転倒

長期間使わないときは、本機から電池を取り出す

液もれ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて…

- **強い振動や衝撃を与えないでください。**
  誤動作や、画像が記録できなくなる、またはレンズや液晶モニターが破壊される可能性があります。
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座ったり、いっぱいになったかばんなどに無理に入れたりしないでください。
- **下記の場所では、故障などの原因になることがありますので、特にお気をつけください。**
  ・砂やほこりの多いところ
  ・雨の日や浜辺など水がかかるところ
- **万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。**

■つゆつきについて（レンズがくもるとき）…

- つゆつきは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- つゆつきが起こった場合、電源を [OFF] にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■「使用上のお願い」も、あわせてお読みください。（P106）

ホームページではデジタルカメラの撮りかたやコツ、新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。

http://panasonic.jp

また製品のサポート情報については

http://panasonic.jp/support/

をご覧ください。

■事前に必ずセットアップメニューの［電池設定］（P22）で使用する電池を設定してください 設定後、ためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■カードの画像について

- 以下の画像は、本機で再生できない場合があります。
  - ・他機で記録、作成した画像
  - ・パソコンで編集された画像
- 本機で記録、作成した画像は他機で再生できない場合がありますので、あらかじめお確かめください。

■本機で使用できるカードは

SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、マルチメディアカードです。

- 本書では以下のカードのことを「カード」と記載しています。
  - ・SD メモリーカード（8MB ～ 2GB）
  - ・SDHC メモリーカード（4GB）
  - ・マルチメディアカード
- ４ＧＢ以上のメモリーカードは SDHC メモリーカードのみ使用出来ます。
- SDHC ロゴのない4 GB（以上）のメモリーカードは、SD 規格に準拠していません。
- マルチメディアカードは静止画のみ対応しています。

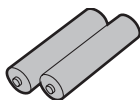
- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属品

付属品をご確認ください。

記載の品番は 2007 年 2 月現在のものです。

□

単 3 形オキシライド乾電池
（2 本）

□

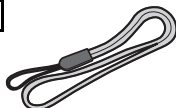
ビデオケーブル
K1HA08CD0015

□

USB 接続ケーブル
K1HA08CD0013

□

CD-ROM

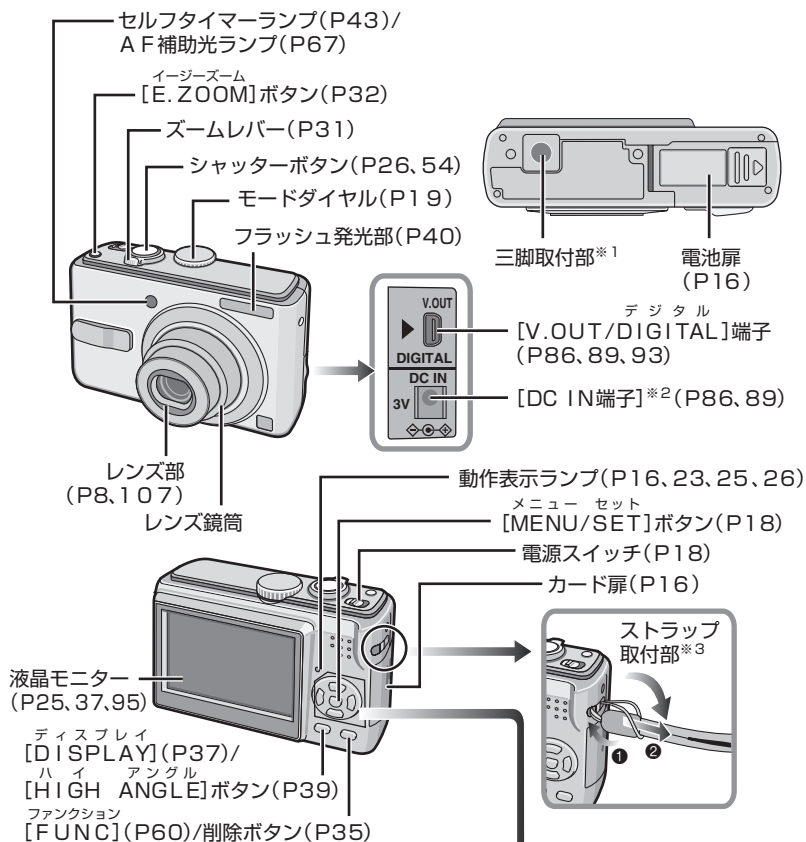
□

ストラップ
VFC4090

- **カードは別売です。**
  カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。（P17）
- 別売品については 94 ページを参照してください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

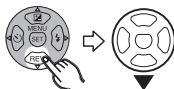
Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

各部の名前

※１ 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

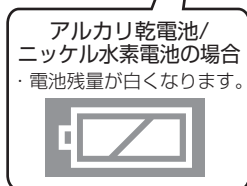
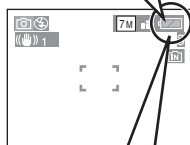
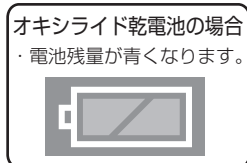
※２ ＡＣアダプターを使用するときは、当社製のＡＣアダプター(別売:ＤＭＷ-ＡＣ６)を使用してください。

※３ ストラップを外すときは、先のとがったもので、ひもの結び目をほどいて外してください。

※４ 本書ではカーソルボタンを下図のように説明しています。
例:▼ボタンを押すとき

電池について

■使用できる電池について

単３形オキシライド乾電池（付属）※
単３形アルカリ乾電池（別売）
単３形充電式ニッケル水素電池（別売）

- **はじめて電池を入れたときや、電池残量がなくなって電池を交換したときなどに、以下のメッセージが表示されます。「オキシライド乾電池モードに設定されています」/「アルカリ乾電池 / ニッケル水素電池モードに設定されています」メッセージと使用している電池が異なる場合は、セットアップメニューの［電池設定］（P22）で使用する電池を設定してください。**
- **電池設定は、電池残量の色（青または白）で判別できます。**
  - ・AC アダプター（別売：DMW-AC6）につないで使うときは表示されません。

※オキシライド乾電池は、Panasonic が開発した新しいタイプの乾電池です。オキシライド乾電池はアルカリ乾電池より高出力で、デジタルカメラなどの負荷が高い機器での使用に適しています。

- Panasonic 製電池の使用をおすすめします。
- 電池の銘柄や製造日からの保存期間・保存状態によって、性能が大きく異なる場合があります。
- 電池は低温時（10 ℃以下）には一時的に性能が低下しますが、常温に戻ると回復します。
- 使用温度や使用条件によっては、誤動作を起こしたり、電池残量が正しく表示されずに電源が切れる場合がありますが、異常ではありません。
- 電池を長持ちさせるために、撮影の合間には電源をこまめに切ることをおすすめします。長時間使用するときは、ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- 一度使い切った電池は、しばらく放置すると性能が回復することがありますが、またすぐに使えなくなりますので、必ず新しい電池と交換してください。

■本機での使用をおすすめできない電池について

マンガン乾電池	リチウム電池
ニッケル乾電池	ニッカド電池

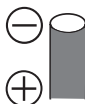
- これらの電池を使用すると、液もれや以下のような誤動作を起こす場合があります。
  - ・電池残量が正しく表示されない
  - ・電源が入らない
  - ・内蔵メモリーやカードのデータが破壊される

つづく

■使用できない形状の電池について

- 本機に入れると、液もれ、発熱、破裂の原因になります。
- 市販されている電池の中には、被覆の一部またはすべてが覆われていない電池がありますので、絶対に使用しないでください。（下図を参照してください）

- 被覆がすべてはがされている電池（裸電池）、または一部がはがされている電池

- ⊖極が平らな電池

■電池の取り扱いについて

電池の取り扱いを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の原因になることがあります。以下のことをお守りください。
また、4 ～ 7 ページの「安全上のご注意」とあわせてお読みください。

- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 被覆をはがしたり、傷を付けないでください。
- 落としたりぶつけたりするなど、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれ、変形、変色、その他異常に気付いたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手が届く範囲に放置しないでください。
- 電池を交換するときは、2本とも同種類の新しい電池に交換してください。
- 本機を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 使用直後の電池は高温になっている場合があります。電池の取り出しは電源を [OFF] にして、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 低温時（10 ℃以下）は電池の性能が低下し、撮影 / 再生時間が極端に短くなります。特にオキシライド乾電池やアルカリ乾電池使用時は短くなる傾向があるため、ポケットの中などで温めてから使用してください。電池をポケットなどで温める場合、ライターなどの金属類やカイロに直接電池が触れないようお気をつけください。
- ⊕⊖極に皮脂などの汚れがあると、撮影 / 再生時間が極端に短くなる場合があります。電池を入れる前に⊕⊖極を乾いた柔らかい布でていねいにふいてください。

準備

万一、液もれが発生したときは、電池挿入部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池または満充電されたニッケル水素電池を入れてください。

液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ただし、取り扱いを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の原因になることがあります。以下のことをお守りください。

- ⊕⊖極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。⊕⊖極と充電器の端子を乾いた柔かい布でていねいにふいてください。
- お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります。(メモリー効果といいます)
- メモリー効果が発生したときは、撮影または再生できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下します。

- 充電したニッケル水素電池を連続して充電しないでください。
- 被覆をはがしたり、傷を付けないでください。
- お使いの充電器の説明書をお読みください。

ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて、電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われます。新しい電池をお買い求めください。

- 寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。

長期間使用しないときは

- 電池を入れたままにしておくと、本機の電源が [OFF] であっても、絶えず微少電流が流れているので電池が放電します。そのままにしておくと過放電になり、充電しても電池が使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、電池残量がなくなったあと、本機から取り外して再保管することをおすすめします。

■電池寿命について

記録可能枚数
(条件は CIPA 規格で通常撮影モード [📷] 時)

使用する電池	記録可能枚数
付属の電池または別売の Panasonic オキシライド乾電池	約 250 枚 (約 125 分相当)
Panasonic アルカリ乾電池 (別売)	約 150 枚 (約 75 分相当)
満充電された Panasonic ニッケル水素電池 (別売:HHR-3XPS)	約 460 枚 (約 230 分相当)

CIPA 規格による撮影条件
- 温度23 ℃/湿度50%、液晶モニターを点灯
- 当社製の SD メモリーカード(16 MB)使用
- 電源を入れてから 30 秒経過後、撮影を開始(手ブレ補正 [MODE1] 使用)
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に 1 回フル発光
- 撮影ごとに、T 端→ W 端または W 端→ T 端にズームを動かす
- 10 枚撮影ごとに電源を切り、電池の温度が下がるまで放置
- CIPA は、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。
撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。
- **例えば2分に1回撮影した場合は、上記(30 秒に 1 回撮影)の枚数の約 1/4 になります。**

低温時の記録可能枚数
(温度 0 ℃、その他の撮影条件は左記 CIPA 規格で通常撮影モード [📷] 時)

使用する電池	記録可能枚数
付属の電池または別売の Panasonic オキシライド乾電池	約 50 枚 (約 25 分相当)
Panasonic アルカリ乾電池 (別売)	約 40 枚 (約 20 分相当)
満充電された Panasonic ニッケル水素電池 (別売:HHR-3XPS)	約 380 枚 (約 190 分相当)

- オキシライド乾電池やアルカリ乾電池は、低温時に著しく性能が低下しますので、お気をつけください。

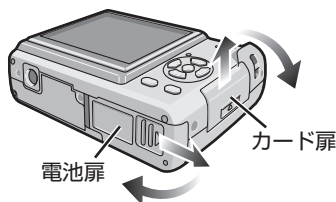
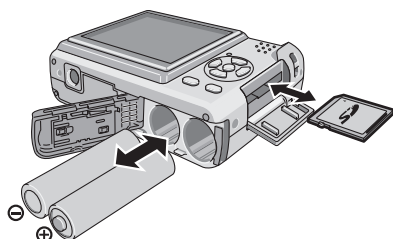
再生時間

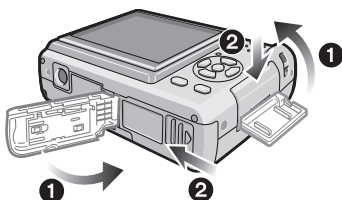
使用する電池	再生時間
付属の電池または別売の Panasonic オキシライド乾電池	約 430 分
Panasonic アルカリ乾電池 (別売)	約 420 分
満充電された Panasonic ニッケル水素電池 (別売:HHR-3XPS)	約 610 分

お知らせ
- 記録可能枚数、再生時間は電池の保存状態や使用条件によって多少変わります。
- 使用する電池の銘柄、種類によっては記録可能枚数、再生時間は異なります。
- 電池を長持ちさせるため、パワーセーブ(P22)やエコモード(P23)を使用したり、撮影の合間は電源をこまめに切ることをおすすめします。

電池 / カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源が [OFF] になっていることを確認する。
- オキシライド乾電池（付属）、アルカリ乾電池（別売）またはニッケル水素電池（別売）を使用する。
- カード（別売）を用意する。
- **カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。****（P17）**

1 電池扉、カード扉をスライドさせて開く

2 電池：
⊕⊖の向きを間違えないように入れる
カード：
向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥まで入れる
取り出すときは「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- カードの裏の接続端子部に触れないでください。
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

3 ❶ 電池扉、カード扉を閉じる
❷ 最後までスライドさせて確実に閉じる

- カード扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出して、カードの向きを確認してからもう一度入れ直してください。

〇〇(お知らせ)〇〇

- **セットアップメニューの［電池設定］（P22）で使用する電池を設定してください。**
- 使い終わったら、電池を取り出しておいてください。
- **カメラの設定が正しく保存されない可能性がありますので、液晶モニターと動作表示ランプ（緑）が消灯してから電池を取り出してください。**
- **電源を [ON] にしたまま電池やカードを入れたり、取り出したりしないでください。内蔵メモリーやカードのデータが壊れる原因になることがあります。特にアクセス中はお気をつけください。****(P25)**
- **カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。**

内蔵メモリー / カード（別売）について

内蔵メモリーは、カード使用時にカードの容量がなくなった場合の臨時用メモリーとしてお使いいただけます。

■内蔵メモリーについて（[IN]）

内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。（カードを挿入しているときは内蔵メモリーは使えません）

- **内蔵メモリーの容量は約 27 MB です。**
- **内蔵メモリーで記録できる動画は、QVGA（320 × 240 画素）のみです。（P55）**

■カードについて（[カード]）

カードを挿入している場合は、カードで画像の記録や再生ができます。

■カード（別売）について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカードおよびマルチメディアカードは小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。使用できるカードについては 9 ページをお読みください。
- SDHC メモリーカードは 2006 年に SD アソシエーションにより策定された、2 GB を超える大容量メモリーカードの新規格です。
- SD メモリーカードおよび SDHC メモリーカードは記録 / 読み出し速度が速く、カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。

（スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなり、戻すと可能になります）
- 本機（SDHC 対応機器）は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。
- 本機はSDメモリーカード/SDHCメモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（必ずお使いの機器の説明書をお読みください。お店にプリントを依頼する場合も、事前にお問い合わせください）

最新情報は下記サポートサイトで
ご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

- カードの記録可能枚数・時間については 109 ページを参照してください。
- 動画撮影には高速タイプのSDメモリーカード/SDHCメモリーカードを使用することをおすすめします。（P55）

■miniSD カード（別売）について

- miniSDカードを本機で使用する場合は、専用の miniSD アダプターを必ず装着してお使いください。
- miniSDアダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。
必ず、miniSD カードを入れてお使いください。

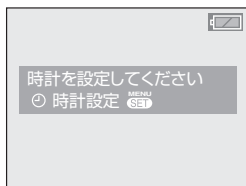
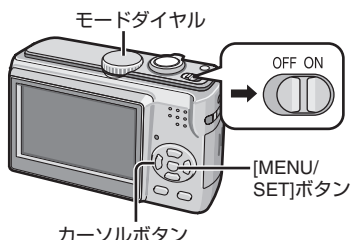
◯◯お知らせ◯◯

- 内蔵メモリーやカードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりデータが壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをおすすめします。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P85）

時計を設定する

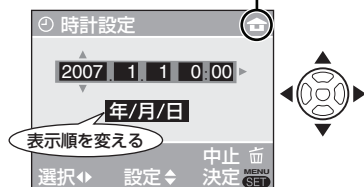
モードダイヤルを[◉]に合わせてください。

■お買い上げ時は・・・

時計設定はされていませんので、電源を［ON］にすると、下記のような画面が表示されます。

1 ［MENU/SET］ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ で年月日、時刻、表示の順番を合わせる

[ホーム]：ホームの時間

[旅行先]：旅行先の時間（P58）

◀/▶：合わせたい項目（年・月・日・時・分・表示順）を選ぶ

▲/▼：年月日、時刻、表示順を設定する

[ゴミ箱]：時計を設定せずに中止する

3 ［MENU/SET］ボタンを押して決定する

- 時計設定終了後、一度電源を［OFF］にしてから撮影モードで［ON］にして、設定どおり表示されているか確認してください。

時計設定を変更する場合

❶［MENU/SET］ボタンを押す

❷▲/▼ で［時計設定］を選ぶ（P67）

❸▶ を押し、手順**2**、**3**の操作で決定する

❹［MENU/SET］ボタンを押してメニューを終了する

・セットアップメニュー（P22）でも設定できます。

○○お知らせ○○

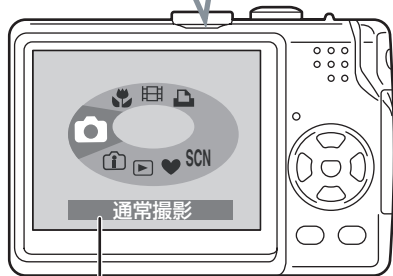
- 電池を挿入して約 3 時間経過すると、電池を取り出して放置しても、約 3ヵ月は時計設定を記憶しています。
- 年は2000 年から2099 年まで設定できます。時刻は 24 時間表示です。
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや日付焼き込み（P76）を行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。（P92）

モードダイヤルについて

電源を［ON］にしてモードダイヤルを回すと、撮影と再生の切り換えだけでなく、被写体に近づいて撮影できるマクロモードや、目的に適した撮影ができるシーンモードにも切り換えることができます。

モードダイヤルを切り換える

● の部分に使用したいモードを合わせる

モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。（モードダイヤルは３６０°回転しますが、モードの表示がない部分には合わせないでください）

モードダイヤルを回すと、液晶モニターに上記画面が表示されます。（P24）
電源を［ＯＮ］にしたときには、液晶モニターに現在選択されているモードが表示されます。

基本

通常撮影モード P26
通常はこのモードに合わせて撮影します。

かんたんモード P29
初心者におすすめのモードです。

再生モード P35
撮影した画像を再生します。

応用

インテリジェントISO感度モード P45
被写体の動きと明るさに応じてISO 感度とシャッタースピードを最適に設定して撮影できます。

マクロモード P46
被写体に近づいて撮影できます。

SCN シーンモード P47
撮影シーンに合わせて撮影できます。

動画撮影モード P54
動画を撮影します。

プリントモード P89
画像をプリントします。

メニューを設定する

■メニュー画面を表示するには

[MENU/SET] ボタンを押す

■メニューアイコンについて

撮影メニュー（P60）：
モードダイヤルが [ ]/[ ]/[ ]/[SCN]/[ ] のときに表示されます。

再生メニュー（P72）：
モードダイヤルが [ ] のときに表示されます。

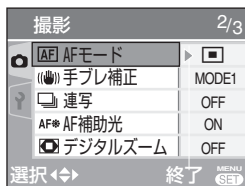
SCN シーンモードメニュー（P47）：
モードダイヤルが [SCN] のときに表示されます。

セットアップメニュー（P22）：
モードダイヤルが [ ]/[ ]/[ ]/[SCN]/[ ]/[ ] のときに表示されます。

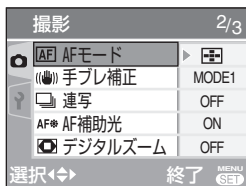
■メニュー項目を設定する

• ここでは、通常撮影モード[ ] で、[AFモード] を設定する例で説明しています。

1 ▲/▼ でメニュー項目を選ぶ

ここで▼を押すと次の画面に切り換わります。

2 ▶ を押す

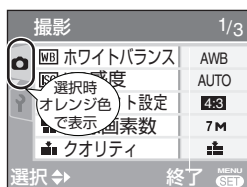
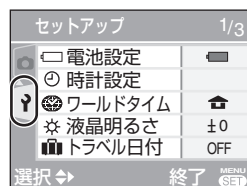
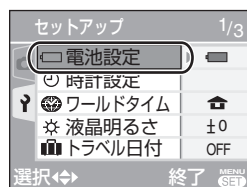
3 ▲/▼ で設定内容を選ぶ

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

■ メニュー画面を終了するには

[MENU/SET] ボタンを押す

- モードダイヤルが [ ]/[ ]/[ ]/[SCN]/[ ] のときは、シャッターボタン半押しでも終了できます。

■セットアップメニューとの切り換え

1 メニュー画面で ◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコンを選ぶ

3 ▶ を押す

- 続けてメニュー項目を選んで設定してください。

準備

セットアップメニューを使う

- 必要に応じて設定してください。(各項目については 22 ～ 24 ページをお読みください)
- メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[設定リセット] を実行してください。(P24)

MENU SET を押してメニューを表示し、セットアップメニュー [ ] から各項目を選んでください。(P20)

▶ はお買い上げ時の設定です。
[電池設定]、[時計設定]、[オートレビュー]、[パワーセーブ]、[エコモード] は大切な項目です。ご使用の前に設定を確認してください。

使用する電池の種類を設定する 電池設定

使用する電池の種類に合わせて設定します。

: アルカリ（LR6）/ ニッケル水素
▶ : オキシライド（ZR6）

◯◯お知らせ◯◯

- 使用する電池の種類と電池設定が合っていないと、電池残量が正しく表示されません。

日付や時刻を変更する 時計設定（P18）

日付や時刻を変更するときに設定します。

撮影画像を表示する オートレビュー

撮影後に撮影画像を表示させる時間を設定します。

OFF
▶ 1秒
3秒

◯◯お知らせ◯◯

- 動画撮影モード［ ］はオートレビューできません。
- かんたんモード［ ］、連写（P66）時はオートレビューの設定ができません。(上記設定からは選択できません)

自動的に電源を切る パワーセーブ

設定した時間の間に何も操作しないと、パワーセーブモード（電源を自動的に切り、電池の寿命を延ばす）になります。

OFF
1分
2 分
▶ 5 分
10 分

◯◯お知らせ◯◯

- 解除するには、シャッターボタンを半押しするか、電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
- エコモード設定時は［2 分］、かんたんモード [ ] 時は［5 分］に固定されます。
- 以下の場合、パワーセーブは働きません。
  - ・AC アダプター(別売：DMW-AC6) 使用時
  - ・パソコンまたはプリンター接続時
  - ・動画撮影 / 再生時
  - ・スライドショー中（P73）

つづく

MENU SET を押してメニューを表示し、セットアップメニュー［ ］から各項目を選んでください。（P20）

ECO 自動的に液晶モニターを消す エコモード

撮影時、液晶モニターの明るさを暗くし、使用しない間、液晶モニターを自動的に消灯することで、電池の寿命を延ばします。

▶ OFF： エコモードになりません。
LEVEL1： 約 15 秒間何も操作をしないと、液晶モニターが消灯します。
LEVEL2： 約 15 秒間何も操作をしない、または撮影後約 5 秒間何も操作をしないと、液晶モニターが消灯します。

お知らせ

- 液晶モニター消灯中は動作表示ランプが点灯します。液晶モニターを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。
- パワーセーブの設定時間が［2 分］に固定されます。
［ただし、AC アダプター（別売：DMW-AC6）使用時は、パワーセーブは働きません］
- 以下の場合、エコモードは働きません。
  - ・かんたんモード［♥］時
  - ・AC アダプター（別売：DMW-AC6）使用時
  - ・メニュー画面表示中
  - ・セルフタイマー設定中
  - ・動画撮影中

ワールドタイム（P58）

お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。

✈：旅行先の地域
▶ ⌂：お住まいの地域

☼ 液晶明るさ

液晶の明るさを 7 段階で調整できます。

トラベル日付（P56）

旅行の出発日と帰着日を設定します。

▶ OFF
設定

操作音

操作音を設定できます。

：操作音なし
▶ ：操作音小
：操作音大

番号リセット

次に撮影される画像のファイル番号を 0001 に戻します。

お知らせ

- フォルダー番号が更新され、ファイル番号が 0001 から始まります。（P87）
- フォルダー番号は 100 ～ 999 まで作成されます。フォルダー番号が 999 になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- フォルダー番号を 100 にリセットするには、まず内蔵メモリー、カードをフォーマット（P85）してから、番号リセットを実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、［はい］を選んでフォルダー番号をリセットしてください。

MENU (SET) を押してメニューを表示し、セットアップメニュー [ ] から各項目を選んでください。(P20)

設定リセット

以下の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

撮影設定 /
セットアップ設定

お知らせ

- セットアップ設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。また、再生メニューの [お気に入り]（P74）は [OFF]、[回転表示]（P75）は [ON] になります。
  - ・シーンモードの [赤ちゃん]（P50）、[ペット]（P51）の誕生日設定
  - ・トラベル日付（P56）の旅行経過日数
  - ・ワールドタイム（P58）の設定内容
- 電池設定、フォルダー番号、時計の設定は変わりません。

ビデオ出力 (P93)

(再生モードのみ)
各国のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

▶ NTSC：日本やアメリカなど
PAL：　ヨーロッパなど

TV アスペクト (P93)

(再生モードのみ)
テレビの種類に合わせて設定します。

16:9 ：画面が 16：9 のテレビと接続時
▶ 4:3 ：画面が 4：3 のテレビと接続時

モードダイヤル表示 (P19)

モードダイヤルを回したときに、モードダイヤル表示を表示するかしないかを設定します。

OFF
▶ ON

言語設定

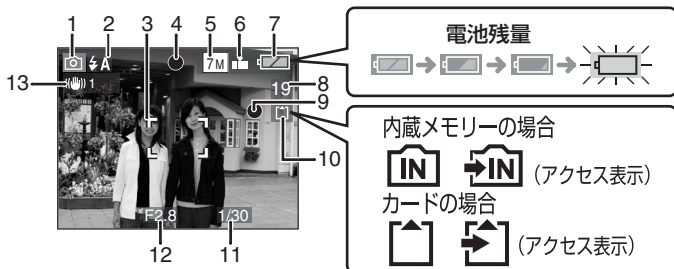
画面表示の言語を設定します。

▶ 日本語
ENGLISH

お知らせ

- 誤って英語に設定した場合は、メニューアイコンの [ ] を選び言語を設定してください。

液晶モニターの表示と切り換え

■通常撮影モード［◉］時の画面表示（お買い上げ時）

1 撮影モード

2 フラッシュモード（P40）
- フラッシュが発光する場合、シャッターボタンを半押ししたときにフラッシュアイコンが赤に変わります。

3 AF エリア
- 暗い場所では、通常よりも大きなAF エリアが表示されます。

4 フォーカス（P26）

5 記録画素数（P63）

6 クオリティ（P63）
手ブレ警告（P28）：

7 電池残量
- 電池残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。(液晶モニターが消灯しているときは、動作表示ランプが点滅します)
新しい電池または満充電されたニッケル水素電池と交換してください。
- AC アダプター（別売：DMW-AC6）につないで使用するときは表示されません。

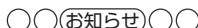
8 記録可能枚数（P109）

9 記録動作

10 内蔵メモリー / カード
- 内蔵メモリー（またはカード）に画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く点灯します。
- **アクセス表示が点灯しているときは、以下のことをお守りください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。**
  - **・電源を [OFF] にしない**
  - **・電池やカード（カード使用時）を取り出さない**
  - **・本機に振動や衝撃を与えない**
  - **・AC アダプター（別売：DMW-AC6）を抜かない（AC アダプター使用時）**
- 画像の読み出しや削除、内蔵メモリー（またはカード）のフォーマット（P85）中も、上記のことをお守りください。
- カードより内蔵メモリーの方がアクセス時間が長い場合があります。（最大約 7 秒）

11 シャッタースピード（P26）

12 絞り値（P26）
- 適正露出にならないとき、絞り値とシャッタースピードの数値の色が赤くなります。(ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません)

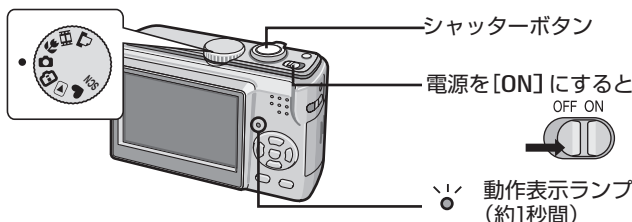
13 手ブレ補正（P65）

○○お知らせ○○
- その他の画面表示については、95 ページをお読みください。

■画面表示の切り換え

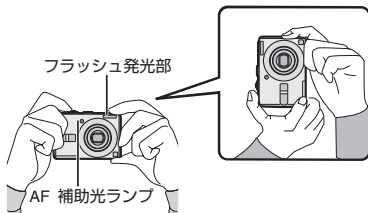
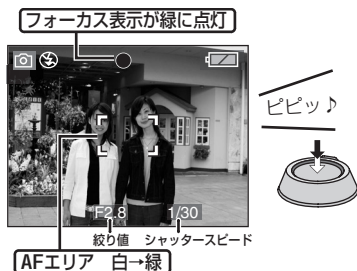
[DISPLAY] ボタンを押して、画面表示を切り換えることができます。記録画素数や記録可能枚数などの情報を表示させながら撮影したり、情報を表示させずに撮影することができます。詳しくは、37 ページをお読みください。

撮る（📷：通常撮影モード）

モードダイヤルを[📷]に合わせてください。

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。

1 両手で軽く持ち、脇を閉め、肩幅くらいに足を開いて構える

2 ピントを合わせたい位置に AF エリアを合わせる

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- **ピントが合う範囲は 50 cm ～∞です。**

- 以下の場合ピントが合っていません。
  - ・フォーカス表示が点滅（緑）
  - ・AF エリアが白→赤または AF エリアなし
  - ・フォーカス音がピピピピッ
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していてもピントが合っていない場合があります。

4 半押しのままさらにシャッターボタンを全押しして撮影する

■ フラッシュを使う

撮影場所が暗いとカメラが判断した場合、シャッターボタン全押し時にフラッシュが発光します。（フラッシュ設定オート [⚡A]/赤目軽減オート [⚡A◉] 時）

- 撮影内容に合わせてフラッシュの設定を切り換えることができます。（P40）

○○お知らせ○○

- シャッターボタンを押すと、一瞬液晶モニターが明るくなったり暗くなる場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- フラッシュ発光部や AF 補助光ランプを指などでふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。

つづく

撮影時の３原則～露出・ピント・色～

露出･ピント･色についての基礎知識を持っておくと、撮影に困ったときに役立ちます。

画像が暗く写るなど **露出** で困ったら… 44 ページへ	通常撮影モード［📷］を選ぶと、適正露出になるように自動調整（AE=Auto Exposure）しますが、逆光時など撮影条件によっては暗く写ります。 **このような場合は露出補正をお使いください。明るく撮ることができます。**

画像がぼけて写るなど **ピント** で困ったら… 28、 46 ページへ	通常撮影モード［📷］を選ぶと、自動的でピント合わせ（AF=Auto Focus）を行いますが、以下のような場合にはピントがうまく合わないことがあります。ピントが合う範囲は 50 cm ～∞です。 ･遠くと近くのものを同時に撮る ･汚れたガラスの向こうのものを撮る ･キラキラと光るものが周りにある ･暗い場所を撮る ･動きの速いものを撮る ･コントラスト（濃淡）の低いものを撮る ･高輝度（非常に明るいもの）を撮る ･被写体に近づいて撮る ･手ブレしている **AF/AE ロックのテクニックやマクロモードをお試しください。**

画像が赤っぽく写るなど **色** で困ったら… 61 ページへ	太陽光や蛍光灯など、その場の光が異なると被写体の色も異なって写りますが、本機は見た目に近い色合いに自動調整します。（オートホワイトバランス） **オートホワイトバランスによって得られた色合いを変更したい場合は、ホワイトバランスを設定してください。**

■撮りたい被写体が AF エリアから外れている場合（AF/AE ロック）

下のような構図で人物の写真を撮影したい場合、被写体が AF エリアから外れているので、そのままシャッターボタンを押すだけでは背景などにピントが合ってしまい、被写体にピントが合いません。

このようなときは、

❶ 被写体に AF エリアを合わせる
❷ **シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する
・ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。
❸ **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かす
❹ シャッターボタンを全押しする

• AF/AE ロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

■ 縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。（[回転表示]（P75）を [ON] に設定している場合のみ）

• 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。
• 動画再生時は、画像を縦向きに表示できません。

■手ブレを防ぐために

• シャッターボタンを押し込む際の手ブレにお気をつけください。
• シャッタースピードが遅くなり手ブレしやすいときは、手ブレ警告表示が出ます。

• 手ブレ警告表示が出るときは、三脚の使用をおすすめします。または撮る姿勢（P26）にお気をつけください。三脚使用時にはセルフタイマー（P43）を使うと、シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐことができます。
• 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
・シーンモードの [夜景 & 人物]（P48）/
[夜景]（P49）/
[パーティー]（P49）/
[キャンドル]（P50）/
[星空]（P52）
[花火]（P53）

かんたんモードで撮る（♥: かんたんモード）

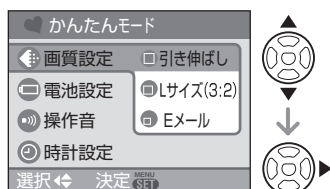
つづく

モードダイヤルを♡に合わせてください。

初心者でも簡単に撮影できます。必要な項目だけがわかりやすく表示されますので、迷うことがありません。

■必要に応じてメニュー設定をする

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ でメニュー項目を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

項目	設定内容
画質設定	引き伸ばし： A3 や A4 などの大きめのサイズにプリントするときに最適です。 L サイズ (3:2)： L サイズ(89 mm×127 mm)の大きさにプリントするときに最適です。 E メール： E メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに最適です。
電池設定	使用する電池を変更するときに設定します。(P22)
操作音	OFF:操作音なし 小：操作音小 大：操作音大
時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。(P18)

- [画質設定] の [L サイズ (3:2)]、[E メール] は、EX 光学ズームが働きます。(P31)
- かんたんモードでの [電池設定]、[操作音]、[時計設定] の設定内容は、他の撮影モードにも反映されます。
- セットアップメニューでの [ワールドタイム] (P23)、[液晶明るさ] (P23)、[トラベル日付] (P23)、[番号リセット] (P23)、[言語設定] (P24) は、かんたんモードにも反映されます。

■かんたんモード時の設定内容

かんたんモード時は、その他の設定項目が次のように固定されます。詳しくは、それぞれのページをお読みください。

項目	設定内容
撮影可能範囲	30 cm ～∞（T 端時） 5 cm ～∞（W 端時）
オートレビュー（P22）	1 秒
パワーセーブ（P22）	5 分
エコモード（P23）	OFF
セルフタイマー（P43）	10 秒
手ブレ補正（P65）	MODE2
ホワイトバランス（P61）	AWB
ISO 感度（P62）	インテリジェント ISO 感度モード [ ]（P45）の最高 ISO 感度 [ISO800] 設定時と同じになります。
アスペクト設定 / 記録画素数 / クオリティ（P62、63）	引き伸ばし： 4:3/7M (7M)/ ファイン L サイズ (3:2)： 3:2/2.5M (2.5M EZ)/ スタンダード E メール： 4:3/0.3M (0.3M EZ)/ スタンダード
AF モード（P64）	1 点
AF 補助光（P67）	ON

- 以下の機能が使えません。
  - ・ハイアングルモード
  - ・露出補正
  - ・連写
  - ・デジタルズーム
  - ・カラーモード
- 以下の設定が変更できません。
  - ・トラベル日付
  - ・ワールドタイム

■逆光補正機能

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。
このとき、人物など被写体が暗く写りますので、画像全体を明るくすることにより逆光を補正します。

▲ を押す

- 逆光補正時は［ ］（逆光補正オン表示）が表示されます。解除するにはもう一度 ▲ を押してください。

- 逆光補正機能使用時は、フラッシュ（強制発光［ ］に固定）を使用することをおすすめします。
- 逆光補正がオフのときに、フラッシュを使用する場合は、赤目軽減オート［ ］になります。

ズームを使って撮る

つづく

光学ズーム /EX 光学ズーム（EZ）で撮る

モードダイヤル設定：

光学ズーム 3 倍までの範囲で、風景などを広く（広角）撮ったり人や物を大きく（望遠）撮ることができます。（35 mm ～ 105 mm：35 mm フィルムカメラ換算）画質を劣化させずにさらに大きく（最大 4.5 倍）撮るには、各アスペクト（4:3 / 3:2 / 16:9）で最大記録画素数以外の記録画素数に設定してください。

■大きく撮るには（望遠）
ズームレバーを T 側へ回す

■広く撮るには（広角）
ズームレバーを W 側へ回す

■記録画素数と最大ズーム倍率

アスペクト設定（P62）	記録画素数（P30、63）	最大ズーム倍率（T 端）	EX 光学ズーム
4:3	7M / (7M)	3 倍	×
3:2	6M (6M)		
16:9	5.5M (5.5M)		
4:3	5M (5M EZ)	3.6 倍	○
4:3	3M (3M EZ) 2M (2M EZ) 1M (1M EZ) 0.3M / (0.3M EZ)	4.5 倍	○
3:2	2.5M / (2.5M EZ)		
16:9	2M (2M EZ)		

■EX 光学ズームの仕組み

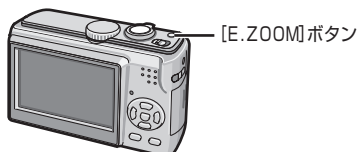
例えば [3M]（3M EZ）（300 万画素相当）に設定すると、CCD の持つ 7M（700 万画素相当）の領域のうち、3M（300 万画素相当）分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

〇〇お知らせ〇〇

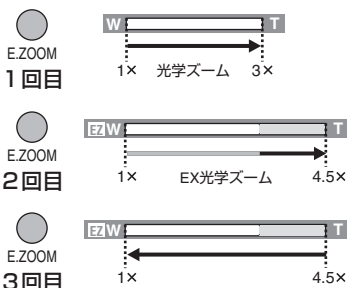
- 電源 [ON] 時は W 端（1 倍）です。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ズーム位置によって、レンズ鏡筒（P11）が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- 動画撮影モード [ ] 時は、撮影を開始したときのズーム倍率に固定されます。
- EZ とは「Ex. optical Zoom」の略で、EX 光学ズームを表します。
- EX 光学ズームが働く記録画素数では、ズーム操作をすると、画面に [EZ] が表示されます。
- EX 光学ズーム時、W 端（1 倍）付近でズームの動きが一瞬止まりますが、故障ではありません。
- ズーム倍率は目安です。
- 以下の場合、EX 光学ズームは働きません。
  ・動画撮影モード [ ]
  ・シーンモードの［高感度］

イージーズームを使う

モードダイヤル設定：

[E.ZOOM] ボタンを押すと、W 端から T 端まで高速でズームすることができます。
ズーム倍率は、記録画素数の設定によって異なります

■各アスペクトで最大記録画素数に設定時

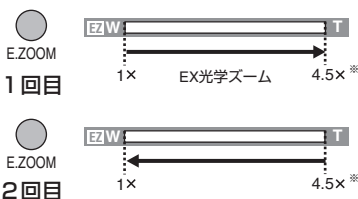
一時的に記録画素数が小さくなり、EX 光学ズームが可能になります。

[7M]（７M）設定時の例

• EX 光学ズーム時は記録画素数が以下のようになります。このとき、画面に表示されるズームバーと記録画素数の色が変わります。

アスペクト設定	記録画素数
4:3	7M → 3M
3:2	6M → 2.5M
16:9	5.5M → 2M

• [E.ZOOM] ボタンを３回押し、ズーム位置が W 端に戻ると、元の記録画素数に戻ります。また、ズームレバーでズーム位置を光学ズーム領域に戻した場合も、元の記録画素数に戻ります。

■各アスペクトで最大記録画素数以外に設定時

[3M]（３M　EZ）設定時の例

※ **記録画素数が[5M]（５M　EZ）のときは３.６倍になります。**

○○お知らせ○○

• [E.ZOOM] ボタンはズームが働くまでしっかり押してください。
• ズーム位置がW端以外のときに[E.ZOOM]ボタンを押した場合もイージーズームが働きます。
• [デジタルズーム]（P33）を [ON] に設定しているときは、さらにデジタルズーム領域までズームできます。
• かんたんモード[♥] の[■ 引き伸ばし]、シーンモードの ［高感度］（P52)、動画撮影モード [▦] 時は、光学 3 倍までのズームになります。
• ズーム倍率は目安です。

デジタルズームで撮る　さらに拡大する

モードダイヤル設定：

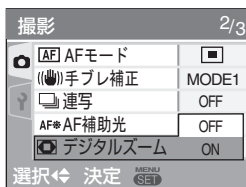
撮影メニューで［デジタルズーム］を［ON］に設定すると、光学 3 倍、デジタル 4 倍の最大 12 倍まで、また EX 光学ズームが働く記録画素数では（P31）、EX 光学 4.5 倍、デジタル 4 倍の最大 18 倍まで拡大が可能になります。

■メニュー操作について

1 [MENU/SET] ボタンを押す

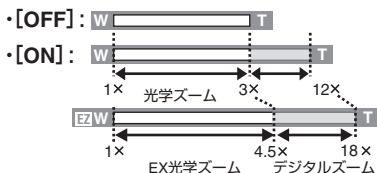
- シーンモード時は、撮影メニュー［ ］を選んで、▶ を押してください。

2 ▲/▼ で［デジタルズーム］を選び、▶ を押す

3 ▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

■デジタルズーム領域に入るには

光学ズームの最も望遠側まで拡大すると、一度ズーム表示のバーが停止します。その状態でズームレバーを T 側に回し続けるか、一度ズームレバーを離してもう一度ズームレバーを T 側に回すと、デジタルズーム領域に入ることができます。

例：EX 光学ズーム 3M（3M EZ）併用時

○○お知らせ○○

- デジタルズーム領域では、大きな AF エリア（P65）が表示されます。また、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー（P43）を使って撮影することをおすすめします。
- ズーム倍率は目安です。
- 以下の場合、デジタルズームは働きません。
  - ・かんたんモード［♥］
  - ・インテリジェント ISO 感度モード［ ］
  - ・シーンモードの［スポーツ］、［赤ちゃん］、［ペット］、［高感度］

撮った画像を確認する（レビュー）

モードダイヤル設定：

撮影モードのままで撮影した画像を確認できます。

1 ▼(REV) を押す

- 最後に撮影した画像が約 10 秒間表示されます。
- シャッターボタンを半押し、または再度 ▼(REV) を押すとレビューが解除されます。

2 ◀/▶ で画像を送る

◀：前の画像へ　▶：次の画像へ

■画像を拡大する

1 ズームレバーを [Q]（T）側に回す

- ズームレバーを [Q]（T）側に回すと 4 倍に、さらに回すと 8 倍になります。拡大したあと、ズームレバーを [ ]（W）側に回すと、倍率が小さくなります。

2 ▲/▼/◀/▶ で位置を移動させる

- 倍率を変えたり、表示する位置を移動させると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示されます。

■撮影した画像をレビュー中に削除する（クイック削除）

レビュー時に 1 枚・複数・全画像削除できます。削除の方法については 35 ～ 36 ページをお読みください。

○○お知らせ○○

- [回転表示]（P75）を [ON] に設定していると、本機を縦に構えて撮影した画像は縦向きに（回転されて）表示されます。

画像を見る / 削除する（▶: 再生モード）

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

カードが入っていない場合は内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが再生 / 削除されます。（P17）

画像は一度削除すると元に戻すことができません。1 枚ずつ確認しながら不要な画像を削除してください。

■画像を再生する

◀/▶ で画像を送る

◀：前の画像へ　▶：次の画像へ

■早送り / 早戻しをする

再生中に ◀/▶ を押したままにする

画像番号　ファイル番号

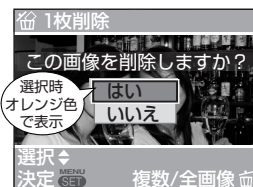
◀：早戻し　▶：早送り

- ファイル番号と画像番号のみが 1 枚ずつ更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに ◀/▶ を離すと、その番号の画像が表示されます。
- 押したままにすると、送る枚数が増加します。
- 撮影モード時のレビュー再生や、マルチ再生（P68）では、1 枚ずつしか早送り / 早戻しはできません。

- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機の液晶モニターでは、撮影画像の細部を表示できない場合があります。再生ズーム（P70）を使うことにより、画像の細部も確認できます。
- 他機で撮影された静止画を再生すると、再生される画像の画質が劣化して表示される場合があります。（画面上に「サムネイル表示」と表示されます）
- パソコンでフォルダー名やファイル名を変更すると再生できない場合があります。
- 規格外のファイルを再生したときは、フォルダー・ファイル番号が [—] で表示され、画面が黒くなる場合があります。
- 他機で撮影された音声付き静止画は、本機では音声を再生できません。

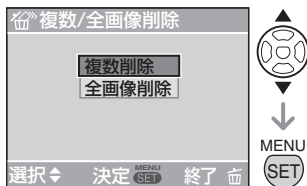
■ 1 枚削除

1 画像再生中に [🗑] ボタンを押す

2 ▲ で［はい］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 画像削除中は、画面に [🗑] が表示されます。

■ 複数 / 全画像削除

1 [🗑] ボタンを 2 回押す

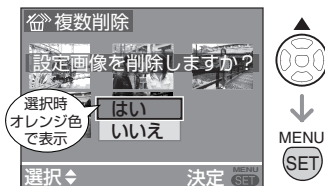
2 ▲/▼ で［複数削除］または［全画像削除］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ［複数削除］→手順 **3** へ
- ［全画像削除］→手順 **5** へ
- ［★以外全削除］（［お気に入り］(P74) 設定時のみ）→手順 **5** へ
（ただし、［★］の付いた画像が 1 枚もない場合は、選択できません）

3 ◀/▶ で画像を選び、▼ で設定する（［複数削除］選択時のみ）

- この手順を繰り返します。
- 設定した画像に［🗑］が表示されます。もう一度▼ を押すと設定が解除されます。
- プロテクトされていると、設定した画像に［🔑］アイコンが赤く点滅し、画像削除できません。プロテクト設定を解除してから削除してください。(P80)

4 [🗑] ボタンを押す

5 ▲ で［はい］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

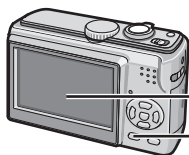
（［複数削除］選択時の画面）

- 内蔵メモリーまたはカードのいずれか一方のみ削除されます。（内蔵メモリーとカードの両方を一括削除することはできません）
- ［全画像削除］の場合、［内蔵メモリー上の全ての画像を削除しますか？］または［メモリーカード上の全ての画像を削除しますか？］、［★以外全削除］の場合、［★以外の全ての画像を削除しますか？］とメッセージが表示されます。
- ［全画像削除］または［★以外全削除］中に [MENU/SET] ボタンを押すと、途中で削除が中止されます。

〇〇お知らせ〇〇

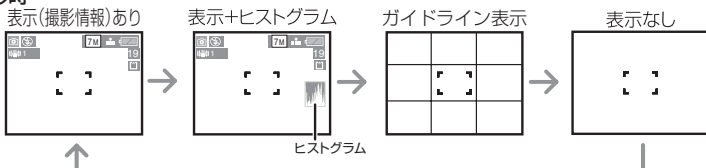
- 削除中は電源を［OFF］にしないでください。
- 削除するときは、容量が十分にある電池（P25）または AC アダプター（別売：DMW-AC6）を使用してください。
- ［複数削除］で一度に削除できるのは 50 枚までです。
- 枚数が多ければ多いほど、削除するのに時間がかかります。
- 以下の場合は、［全画像削除］または［★以外全削除］をしても削除されません。
  - · SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしている場合（P17）
  - · DCF 規格外のファイル（P35）
  - · プロテクト［🔑］された画像（P80）

液晶モニターの表示を切り換える

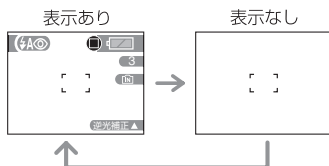
つづく

表示情報を切り換える

[DISPLAY]ボタンを押して切り換える

- メニュー画面表示時は[DISPLAY] ボタンは働きません。再生ズーム時（P70）、動画再生中（P71）、スライドショー中（P73）は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

撮影時

再生時

※1 トラベル日付（P56）を設定して撮影した場合は、経過日数が表示されます。
※2 シーンモードの[赤ちゃん]（P50）、[ペット]（P51）で誕生日設定をし、月齢/年齢ありで撮影した場合に表示されます。

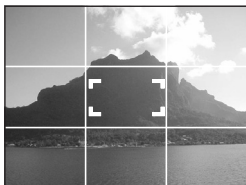
かんたんモード[❤]時

お知らせ

- シーンモードの［夜景 & 人物］（P48)、［夜景］（P49)、［星空］（P52)、［花火］（P53）では、ガイドラインはグレーで表示されます。

基本

応用・撮る

■ガイドライン表示について

被写体を縦横の交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

■ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。

撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

❶中央を中心とした山になっている場合は、暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布し、撮影するのに適した画像となります。

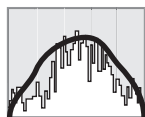
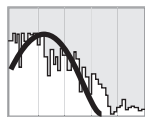
❷極端に左に寄っている場合は、暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

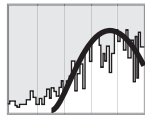
❸極端に右に寄っている場合は、明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

ヒストグラムの表示例

❶ 適正な明るさの画像

ヒストグラム

❷ 暗い画像

ヒストグラム

❸ 明るい画像

ヒストグラム

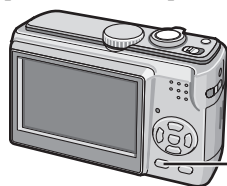
お知らせ

- **フラッシュ発光時や暗い場所での撮影時には、撮影画像とヒストグラムが一致しないため、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
- 撮影時のヒストグラムは目安です。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。
- 以下の場合、ヒストグラムは表示されません。
  - ・かんたんモード［♥］
  - ・動画撮影モード［🎞］
  - ・マルチ再生時
  - ・カレンダー再生時
  - ・再生ズーム時

高い位置に構えて撮る（ハイアングルモード）

モードダイヤル設定：

下図のように高い位置にカメラを構えて撮影するときに液晶モニターを見やすくします。
前に人がいて、被写体に近づけないときなどに便利です。

[HIGH ANGLE] ボタンを 1 秒間押す

• ハイアングルモードにすると、高い位置に構えたときに液晶モニターの画面が見やすくなります。（ただし、正面からは見にくくなります）

■ハイアングルモードを解除するには

[HIGH ANGLE] ボタンを再度 1 秒間押すか、電源を [OFF] にする

• パワーセーブモードに入った場合も設定が解除されます。

◯◯お知らせ◯◯

• ハイアングルモードは、液晶モニターに表示される画像の明るさを強調しています。被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
• 太陽光などが反射して画面が見えにくい場合は、手などでさえぎってください。
• 以下の場合、ハイアングルモードは働きません。
  ・かんたんモード [♥]
  ・再生モード
  ・プリントモード [ ]
  ・メニュー画面表示中
  ・レビュー画面表示中

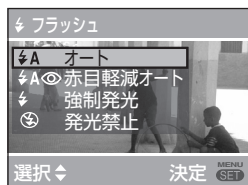
フラッシュを使って撮る

モードダイヤル設定：[通常撮影] [簡単撮影] [ポートレート] [マクロ] [SCN]

■フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1 ▶(ϟ) を押す

2 ▲/▼ で選ぶ

- ▶(ϟ) でも選ぶことができます。
- 選択できるフラッシュ設定については、41 ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をご覧ください。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**
- メニュー画面は約5 秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

項目	設定内容
ϟA： オート	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
ϟA👁： 赤目軽減オート※ （白色）	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 • **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
ϟ： 強制発光 ϟ👁： 赤目軽減強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 • **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。** • **シーンモードの［パーティー］（P49）、［キャンドル］（P50）時のみ、赤目軽減強制発光になります。**
ϟS👁： 赤目軽減スローシンクロ※ （オレンジ色）	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 • **シーンモードの［夜景＆人物］（P48）、［パーティー］（P49）、［キャンドル］（P50）時のみ、赤目軽減スローシンクロに設定できます。**
⊘： 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 • **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※フラッシュが 2 回発光します。2 回目の発光終了まで動かないようにしてください。

■撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
(○:設定可、×:設定不可、◎:初期設定値)

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	⊘
	○	○	○	×	×	○
	×	○※	×※	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	○	◎	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	◎	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	◎	○	○
	×	×	×	○	○	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	◎	○	×	×	○
	×	◎	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	◎	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	◎
	◎	×	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	◎
	×	×	×	×	×	○

※逆光補正オン時は強制発光[⚡]になります。

- 撮影モードを変更すると、フラッシュ設定が変わる場合があります。変更が必要な場合には、再度フラッシュ設定をしてください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を[OFF]にしても記憶していますが、シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定は初期設定に戻ります。

■ISO感度別フラッシュ撮影可能範囲

ISO 感度 (P62)	フラッシュ撮影可能範囲	
	W 端時	T 端時
AUTO	約 30 cm ～ 約 4.7 m	約 30 cm ～ 約 2.6 m
ISO100	約 30 cm ～ 約 1.8 m	約 30 cm ～ 約 1.0 m
ISO200	約 40 cm ～ 約 2.6 m	約 30 cm ～ 約 1.4 m
ISO400	約 60 cm ～ 約 3.7 m	約 40 cm ～ 約 2.1 m
ISO800	約 80 cm ～ 約 5.3 m	約 60 cm ～ 約 2.9 m
ISO1250	約 1.0 m ～ 約 5.3 m	約 80 cm ～ 約 2.9 m

- 撮影モードによって、ピントが合う範囲は異なります。(P112)
- ISO 感度 [AUTO] 設定時にフラッシュを使用すると、ISO 感度は自動的に最大[ISO640](シーンモードの[赤ちゃん](P50)、[ペット](P51)では最大[ISO400])まで高くなります。
- W 端付近で至近距離のフラッシュ撮影をすると、撮影した画像の周囲が暗くなる場合があります。少しズームしてから撮影してください。

■インテリジェントISO感度モード時のフラッシュ撮影可能範囲

最高ISO感度(P45)	フラッシュ撮影可能範囲	
	W端時	T端時
ISO400	約30 cm～約3.7 m	約30 cm～約2.1 m
ISO800 / ISO1250	約30 cm～約5.3 m	約30 cm～約2.9 m

- インテリジェント ISO 感度モード［ ］(P45）で最高ISO感度［ISO400］以外設定時にフラッシュを使用すると、ISO感度は自動的に最大［ISO640］まで高くなります。

■フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A：オート	1/30～1/2000秒
⚡A👁：赤目軽減オート	1/30～1/2000秒
⚡：強制発光 ⚡👁：赤目軽減強制発光	1/30～1/2000秒
⚡S👁：赤目軽減スローシンクロ	1/4～または 1～1/2000秒※1 1/4～1/2000秒※2
：発光禁止	1/4～1/2000秒 1/8～または 1～1/2000秒※3 1/4～または 1～1/2000秒※4

※1　シーンモードの［夜景&人物］(P48)／［キャンドル］(P50)
※2　［パーティー］(P49)
※3　かんたんモード［♥］
※4　インテリジェントISO感度モード［ ］(P45)／シーンモードの［スポーツ］(P48)／［夜景&人物］(P48)／［キャンドル］(P50)／[赤ちゃん］(P50)／[ペット］(P51)

- ※1、※3、※4でシャッタースピードが最大1秒になるのは、以下の場合です。
  ・手ブレ補正［OFF］設定時
  ・かんたんモード［♥］時または手ブレ補正［MODE1］/［MODE2］設定時に、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき
- 以下のシーンモードでは、シャッタースピードが左記表とは異なります。
  ・［夜景］(P49)：8～1/2000秒
  ・［星空］(P52)：15秒、30秒、60秒
  ・［花火］(P53)：1/4秒、2秒

○○お知らせ○○

- **フラッシュが発光中に至近距離(数cm)でフラッシュ発光部を直接見ないでください。**
- **フラッシュに物を近づけると、熱や光で変形、変色する場合があります。**
- **フラッシュを充電している間、液晶モニターが消灯し、撮影できません。動作表示ランプが点灯します。[ACアダプター(別売:DMW-AC6)使用時を除く]電池残量が少ないと、液晶モニターの消灯時間が長くなる場合があります。**
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。(P61)
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- フラッシュが発光すると、連写はできません。

セルフタイマーを使って撮る

モードダイヤル設定： 📷 ♥ 🔒 🌷 SCN

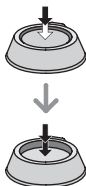
1 ◀(🕙) を押す

2 ▲/▼ でモードを選ぶ

- ◀(🕙) でも選択することができます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**
- メニュー画面は約5 秒後に消えます。そのとき選択されている項目が自動で選ばれます。

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10 秒（または 2 秒）後に撮影動作が開始されます。

セルフタイマーランプ

- セルフタイマー動作中に［MENU/SET］ボタンを押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

○○お知らせ○○

- セルフタイマーを 2 秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのために AF 補助光（P67）として明るく点灯することがあります。
- かんたんモード[♥]時は、10 秒に固定されます。
- 連写のときにセルフタイマーを設定すると、10 秒または 2 秒後に連写を行います。連写枚数は 3 枚に固定されます。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

露出を補正して撮る

モードダイヤル設定：

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

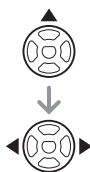
露出オーバー

露出をマイナス方向に補正してください。

適正露出

露出をプラス方向に補正してください。

露出アンダー

1 ▲（）を押して［ 露出補正］を表示させ、◀/▶ で露出を補正する

- − 2 EV から +2 EV の範囲で 1/3 EV ごとに補正できます。
- 露出を補正しない場合は、“0 EV”を選んでください。

2 [MENU/SET] ボタンを押して終了する

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

◯◯お知らせ◯◯

- EV とは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化すると EV が変化します。
- 露出補正値は、画面左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を［OFF］にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの［星空］（P52）では露出補正できません。

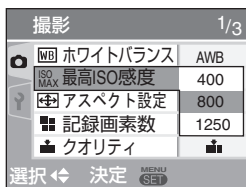
動きに応じて感度を変えて撮る
(［iISO］：インテリジェント ISO 感度モード)

モードダイヤルを ［iISO］ に合わせてください。

画面内の中央付近にある被写体の動きを検出し、被写体の動きと明るさに応じて最適な ISO 感度とシャッタースピードを設定します。

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ で［最高 ISO 感度］を選び、▶ を押す

撮影 1/3
WB ホワイトバランス AWB
ISO MAX 最高ISO感度 400
アスペクト設定 800
記録画素数 1250
クオリティ
選択 決定 MENU SET

3 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定内容
400	被写体の動きと明るさに応じて、設定した数値まで自動的にISO 感度を高くしていきます。
800	
1250	

- ISO 感度を高い数値に設定するほど、被写体ブレを抑える効果が得られますが、ノイズは増加します。

- 屋内で動きのある被写体を撮影する場合などは、ISO 感度を上げてシャッタースピードを速くすることにより、被写体のブレを抑えて撮影します。

1/125 ISO800

- 動きのない被写体を撮影する場合には、ISO 感度を低く設定することにより、ノイズをおさえて撮影します。

1/30 ISO200

- シャッターボタン半押し時は [iISO] が表示され、全押しするとシャッタースピードと ISO 感度がしばらく表示されます。

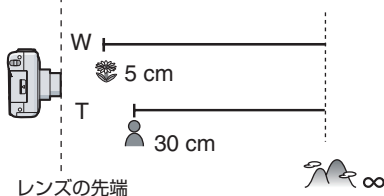
○○お知らせ○○

- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞]
- フラッシュが発光すると、ISO 感度は自動的に最大 [ISO640]（最高 ISO 感度 [ISO400] 以外設定時）まで高くなります。
- フラッシュで撮影できる範囲については、42 ページをお読みください。
- 明るさや被写体の動きの速さによっては、被写体ブレを抑えられない場合があります。
- 以下の場合は動きを検出できないことがあります。
  - ・動いている被写体が小さいとき
  - ・動いている被写体が画面の端にあるとき
  - ・シャッターボタンを全押しした瞬間に被写体が動き出したとき
- ノイズが気になるときは、[最高ISO 感度] を低くするか、［カラーモード］を［ナチュラル］にして撮影することをおすすめします。(P67)
- デジタルズームは使えません。

近づいて撮る（🌷：マクロモード）

モードダイヤルを🌷に合わせてください。

花などの被写体に近づいて撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角に（W 端）にすると、レンズから 5 cm まで接近して撮影できます。

■ピントの合う範囲

〇〇お知らせ〇〇

- 三脚を使用し、セルフタイマー（P43）を使って撮影することをおすすめします。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲（被写界深度）が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- マクロモード時は近距離側を優先するため、被写体が 50 cm 以上離れている場合は、通常撮影モード［📷］時よりピントが合うのに時間がかかります。
- フラッシュで撮影できる範囲は、約 30 cm ～約 5.0 m です。（W 端、[ISO AUTO] 設定時）近距離を撮影する場合は、フラッシュを発光禁止［⚡］にすることをおすすめします。
- 近距離を撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

撮影シーンに合わせて撮る（SCN：シーンモード）

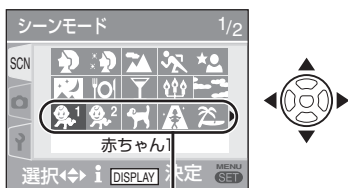
つづく

モードダイヤルをSCNに合わせてください。

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

- 各シーンモードについては、以下の「iインフォメーションについて」と 48 ～ 53 ページをあわせてお読みください。

1 ▶ を押してシーンモードのメニュー画面に入る

2 ▲/▼/◀/▶ でシーンモードを選ぶ

ここで ▼ を押すと
次の画面に切り換わります。

- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

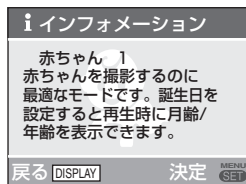
- 選択したシーンモードの撮影画面になります。
- シーンモードを変更したい場合は、[MENU/SET] ボタンを押し、上記手順 1、2、3 の操作を行ってください。

■ iインフォメーションについて

- 手順 2 でシーンモードを選んだときに [DISPLAY] ボタンを押すと、選択されているシーンモードの説明が表示されます。（もう一度押すとシーンモードのメニュー画面に戻ります）

i インフォメーション

赤ちゃん 1
赤ちゃんを撮影するのに最適なモードです。誕生日を設定すると再生時に月齢/年齢を表示できます。

戻る DISPLAY　決定 MENU SET

○○(お知らせ)○○

- シャッタースピードについては42ページをお読みください。
- 設定したフラッシュ設定は電源を [OFF] にしても記憶していますが、シーンモードを変更すると、シーンモードのフラッシュ設定が初期設定に戻ります。（P41）
- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- 手順2で[人物]または[星空]を選んだときに ◀ を押すと、シーンメニュー[SCN]が選択されている状態になります。撮影メニュー［カメラ］またはセットアップメニュー［スパナ］を選ぶとそれぞれの設定ができます。（P20）
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、以下の設定はできません。
  ・ISO 感度
  ・カラーモード

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P47)

人物

人物を引き立て、肌色を健康的に出します。

■撮影のテクニック

- ズームの位置はできるだけ T 側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

◯◯お知らせ◯◯

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- ISO 感度は [ISO100] に固定されます。

美肌

[人物] より肌の表面を特になめらかに表現します。

■撮影のテクニック

- 人物の胸から上を大きく撮りたいときに効果的です。
- ズームの位置はできるだけ T 側(望遠)にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

◯◯お知らせ◯◯

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
- ISO 感度は [ISO100] に固定されます。

風景

広がりのある風景を撮影できます。

◯◯お知らせ◯◯

- ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。
- フラッシュは発光禁止[ ]に固定されます。
- AF 補助光の設定は無効になります。
- ホワイトバランスの設定はできません。

スポーツ

スポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。

◯◯お知らせ◯◯

- 5 m 以上離れた被写体の撮影に適しています。
- 室内での動きの速い被写体を撮影する場合は、ISO 感度はインテリジェント ISO 感度モード [ ] (P45) の最高 ISO 感度 [ISO800] 設定時と同じになります。
- デジタルズームは使えません。

夜景 & 人物

人物とともに背景を見た目に近い明るさに撮影できます。

■撮影のテクニック

- **フラッシュをお使いください。**
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマー (P43) を使って撮影することをおすすめします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。
- ズームレバーを W 端 (広角) にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。

◯◯お知らせ◯◯

- ピントが合う範囲は 1.2 m～5 mです。(フラッシュの撮影可能範囲については 41 ページをお読みください)
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま (最大約 1 秒) になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュ使用時は、赤目軽減スローシンクロ[S] になり、強制発光します。
- ホワイトバランスの設定はできません。

つづく

夜景

夜景を鮮やかに撮影できます。

■撮影のテクニック

- シャッタースピードは最大約 8 秒になるので、三脚を使用してください。また、セルフタイマー(P43)を使って撮影することをおすすめします。

◯◯お知らせ◯◯

- ピントが合う範囲は 5 m ～ ∞ です。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま(最大約 8 秒)になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュは発光禁止[ ]に固定されます。
- ISO 感度は [ISO100] に固定されます。
- AF 補助光の設定は無効になります。
- ホワイトバランスの設定はできません。

料理

レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。

◯◯お知らせ◯◯

- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm(W 端時)/30 cm(T 端時)～∞]
- ホワイトバランスの設定はできません。

パーティー

結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。人物とともに背景も見た目に近い明るさに撮影できます。

■撮影のテクニック

- **フラッシュをお使いください。**
- 三脚を使用し、セルフタイマー(P43)を使って撮影することをおすすめします。
- ズームレバーを W 端(広角)にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。

◯◯お知らせ◯◯

- フラッシュは、赤目軽減スローシンクロ[S]または赤目軽減強制発光[ ]に設定できます。
- ホワイトバランスの設定はできません。

キャンドル

ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。

■撮影のテクニック

- ろうそくの光を生かして、フラッシュを使わずに使用すると効果的です。
- 三脚を使用し、セルフタイマー（P43）を使って撮影することをおすすめします。

◯◯お知らせ◯◯

- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞]
- フラッシュは、赤目軽減スローシンクロ[ ]または赤目軽減強制発光[ ]に設定できます。
- ホワイトバランスの設定はできません。

夕焼け

夕焼けの風景を撮りたいときに合わせてください。赤色を鮮やかに撮影できます。

◯◯お知らせ◯◯

- フラッシュは発光禁止[ ]に固定されます。
- AF 補助光の設定は無効になります。
- ISO 感度は[ISO100]に固定されます。
- ホワイトバランスの設定はできません。

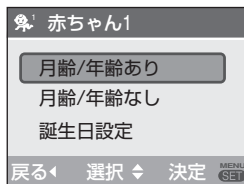
赤ちゃん 1
赤ちゃん2

赤ちゃんの肌色を健康的に出し、フラッシュ使用時にはフラッシュの光が通常より弱めに発光します。
赤ちゃん 1 と 2 のそれぞれに、異なる誕生日を設定できます。設定した月齢 / 年齢は、再生時に表示させたり、[日付け焼き込み]（P76）で撮影画像に焼き込むことができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX(ルミックス) Simple(シンプル) Viewer(ビューワー)」または「PHOTOfun(フォトファン) STUDIO(スタジオ)-viewer(ビューワー)-」を使って月齢 / 年齢をプリントすることができます。（プリントについては、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください）

■月齢 / 年齢表示設定

- 月齢 / 年齢を表示したい場合は、はじめに誕生日設定を行い、撮影前に必ず［月齢 / 年齢あり］に設定してください。

つづく

■誕生日設定

❶▲/▼ で [誕生日設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
❷メッセージが表示されたら、◀/▶ で項目（年月日）を選び、▲/▼ で設定する
❸[MENU/SET] ボタンを押して終了する

◯◯お知らせ◯◯

- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞]
- ISO 感度は、インテリジェントISO 感度モード［ ］（P45）の最高 ISO 感度 [ISO400] 設定時と同じになります。
- ［赤ちゃん］で起動した場合に約５秒間、月齢/年齢が現在日時とともに画面の下に表示されます。
- 月齢 / 年齢の表示は、撮影時の言語設定によって異なります。
  0 ～ 11ヵ月（1 歳未満）：
  例）2ヵ月 5 日
  12ヵ月（1 歳）以上：
  例）2 歳 5ヵ月 5 日
- 月齢 / 年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。
- [月齢 / 年齢なし] に設定していると、時計設定、誕生日設定をしていても月齢 / 年齢は記録されません。撮影後に［月齢 / 年齢あり］に設定しても表示されません。
- ［設定リセット］で誕生日設定のリセットができます。（P24）
- デジタルズームは使えません。

ペット

犬や猫などのペットを撮りたいときに合わせてください。
ペットの誕生日を設定できます。設定した月齢 / 年齢は、再生時に表示させたり、［日付焼き込み］（P76）で撮影画像に焼き込むことができます。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO -viewer-」を使って月齢 / 年齢をプリントすることができます。（プリントについては、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください）

月齢 / 年齢表示設定、誕生日設定については、50 ～ 51 ページの［赤ちゃん］をお読みください。

◯◯お知らせ◯◯

- AF 補助光の初期設定値は [OFF] になります。（P67）
- その他のお知らせについては、[赤ちゃん] をお読みください。

高感度

高感度の処理を行い、[ISO3200] で撮影できます。

◯◯お知らせ◯◯

- 撮影した画像が少し粗くなりますが、高感度処理のためで、異常ではありません。
- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞]
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- 以下の機能が使えません。
  ・EX 光学ズーム
  ・デジタルズーム

ビーチ

海や空などの青色をより鮮やかにし、強い太陽の下でも人物を暗くせずに撮影できます。

◯◯お知らせ◯◯

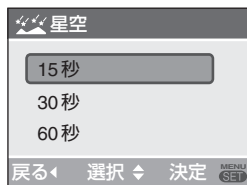
- ぬれた手で触らないでください。
- 砂や海水は故障の原因になります。レンズ部や端子部に砂や海水がかからないようにしてください。
- ホワイトバランスの設定はできません。

星空

星空や暗い被写体を鮮明に撮影できます。

■シャッタースピード設定

シャッタースピードを 15 秒、30 秒、60 秒から選択します。

❶▲/▼ で秒数を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 秒数を変更したい場合は [MENU/SET] ボタンを押し、再度 ▶ で [星空] を選んでください。

❷撮影する

- シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。
  カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。
- 撮影中に [MENU/SET] ボタンを押すと、撮影が中止されます。

■撮影のテクニック

- 15 秒、30 秒、60 秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマー（P43）を使って撮影することをおすすめします。

◯◯お知らせ◯◯

- 液晶モニターの明るさは自動的に暗くなります。
- ヒストグラムは、常にオレンジ色で表示されます。（P38）
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- ISO 感度は [ISO100] に固定されます。
- 以下の機能が使えません。
  ・露出補正
  ・ホワイトバランス
  ・手ブレ補正
  ・連写

MENU SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P47)

花火

夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。

■撮影のテクニック

- シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使うことをおすすめします。

◯◯お知らせ◯◯

- 被写体までの距離が 10 m 以上のときに最適です。
- シャッタースピードは、以下のようになります。
  - ・手ブレ補正 [OFF] 設定時:2 秒
  - ・手ブレ補正 [MODE1] または [MODE2] 設定時:
    1/4 秒または 2 秒 (シャッタースピードが 2 秒になるのは、三脚使用時など、ブレの量が少ないとカメラが判断したときのみです)
- ヒストグラムは、常にオレンジ色で表示されます。(P38)
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- AF モードの設定はできません。
- AF エリアは表示されません。
- AF 補助光の設定は無効になります。
- ISO 感度は [ISO100] に固定されます。
- ホワイトバランスの設定はできません。

雪

スキー場や雪山などの白い雪を白く出すよう撮影できます。

◯◯お知らせ◯◯

- ホワイトバランスの設定はできません。

空撮

飛行機の中から窓越しの景色を撮影するときに最適です。

■撮影のテクニック

- 雲などを撮影する際に、ピントが合いにくい場合は、コントラスト (濃淡) の高いところで半押ししてピントを合わせ、ピントが合った状態のまま、撮りたい被写体に向けて全押しして撮影することをおすすめします。

◯◯お知らせ◯◯

- **離着陸時は電源を [OFF] にしてください。**
- **ご使用の際は、乗務員の指示に従ってください。**
- 窓への写りこみにお気をつけください。
- フラッシュは発光禁止[ ]に固定されます。
- AF 補助光の設定は無効になります。
- ホワイトバランスの設定はできません。

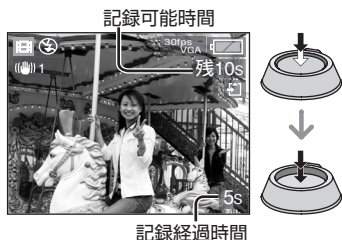
動画を撮る（🎞：動画撮影モード）

モードダイヤルを🎞に合わせてください。

1 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を開始する

記録可能時間

30fps VGA 残10s 5s

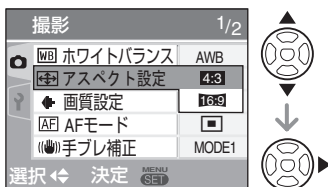
記録経過時間

- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。
- ピント・ズーム・絞り値は、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定に固定されます。
- 手ブレ補正使用時は［MODE1］になります。

2 シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

■アスペクト設定・画質設定を変更する場合

1 ［MENU/SET］ボタンを押す

2 ▲/▼で［アスペクト設定］を選び、▶を押す

3 ▲/▼で項目を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

4 ▲/▼で［画質設定］を選び、▶を押す

5 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

手順 2 の画面で [4:3] を選択したとき

項目	記録画素数	コマ数
30fpsVGA	640 × 480 画素	30 コマ / 秒
10fpsVGA	640 × 480 画素	10 コマ / 秒
30fpsQVGA	320 × 240 画素	30 コマ / 秒
10fpsQVGA	320 × 240 画素	10 コマ / 秒

手順 2 の画面で [16:9] を選択したとき

項目	記録画素数	コマ数
30fps16:9	848 × 480 画素	30 コマ / 秒
10fps16:9	848 × 480 画素	10 コマ / 秒

- 30 コマ / 秒の場合は、動画をよりなめらかに撮影することができます。
- 10 コマ / 秒の場合は、なめらかさには欠けますが、長時間撮影することができます。
- [10fpsQVGA] は、ファイルサイズが小さいのでメールなどに添付するのに適しています。

※内蔵メモリーで記録できる動画は、アスペクト設定［4:3］設定時の［30 fps QVGA]、[10fpsQVGA]（320 X 240 画素）のみです。

6 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

◯◯お知らせ◯◯

- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞]
- 記録可能時間については 111 ページをお読みください。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 音声は記録できません。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- ［画質設定］を［30fpsVGA］または［30fps16:9］に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。
- カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
- **カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。**
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画を連続で撮影できるのは、最大 2 GB までです。
  画面には、2 GB で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。
- 動画撮影モード［🎞］では、以下の機能が使えません。
  ・縦位置検出機能
  ・レビュー
  ・手ブレ補正の［MODE2］

旅行の経過日数を記録する（[トラベル]：トラベル日付）

モードダイヤル設定：[通常撮影] [かんたん撮影] [マクロ] [SCN] [動画]

旅行の出発日を設定しておくと、撮影時に旅行の経過日数（何日目か）が記録されます。記録された経過日数は、再生時に表示させたり、［日付焼き込み］（P76）で撮影画像に焼き込むことができます。

経過日数

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO -viewer-」を使って経過日数をプリントすることができます。（プリントについては、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください）

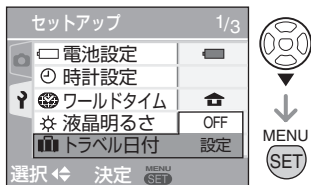
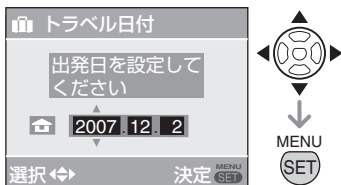
■出発日 / 帰着日を設定する

（画面は通常撮影モード［[カメラ]］の例）

1 ［MENU/SET］ボタンを押して、◀を押す

2 ▼でセットアップメニューアイコン［[スパナ]］を選び、▶を押す

3 ▲/▼で［トラベル日付］を選び、▶を押す

4 ▼で［設定］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

5 ▲/▼/◀/▶で出発日を設定し、［MENU/SET］ボタンを押す

◀/▶：合わせたい項目を選ぶ

▲/▼：年月日を設定する

6 ▲/▼/◀/▶で帰着日を設定し、［MENU/SET］ボタンを押す

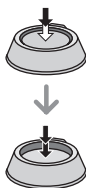
◀/▶：合わせたい項目を選ぶ

▲/▼：年月日を設定する

- 現在の日付が帰着日を経過した場合、トラベル日付は解除されます。
- 帰着日を設定しない場合は、バー表示の状態で[MENU/SET]ボタンを押してください。

7 ［MENU/SET］ボタンを押してメニューを終了する

8 撮影する

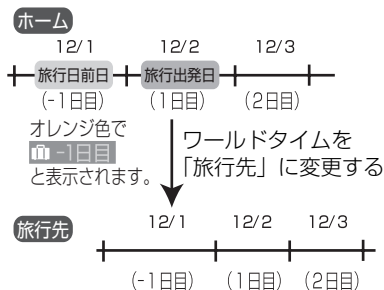
経過日数

- 経過日数は、トラベル日付の設定後や設定した状態で本機の電源を入れたときなどに、約5秒間表示されます。
- トラベル日付を設定すると、画面右下に[ ]が表示されます。(現在の日付が帰着日を経過した場合、表示されません)

■トラベル日付を解除するには

現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。途中で解除したい場合は、手順 4 の画面で［OFF］を選び、[MENU/SET] ボタンを 2 回押してください。

◯◯(お知らせ)◯◯

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定（P18）の日付により計算されます。ワールドタイム（P58）を旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- 出発日より前は、オレンジ色で−（マイナス）付きで表示され、日付情報は記録されません。
- 海外旅行などで、出発日以降に旅行先の日付を 1 日戻した場合、白色で−（マイナス）と表示され、日付情報は記録されます。

（例）12 月 1 日に出発日を 12 月 2 日に設定した場合

- トラベル日付を［OFF］に設定すると、出発日、帰着日を設定をしていても、経過日数は記録されません。撮影後にトラベル日付を［設定］にしても表示されません。
- 「時計を設定してください」とメッセージが表示されたときは、時計設定（P18）を行ってください。
- トラベル日付は、かんたんモード［❤］にも反映されます。

旅行先の時刻を表示する（🌐：ワールドタイム）

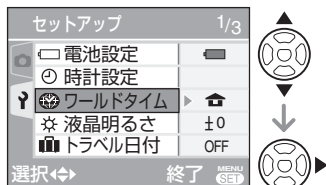
モードダイヤル設定：

お住まいの地域と海外などの旅行先を選ぶことで、旅行先の時刻を表示し、撮影画像に記録することができます。

• あらかじめ［時計設定］（P18）で、現在の時刻を合わせておいてください。

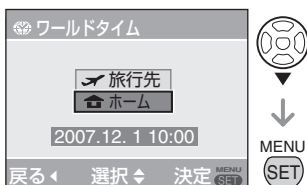
1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコン［🔧］を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で［ワールドタイム］を選び、▶ を押す

• はじめてワールドタイムを設定する場合や、お買い上げ時の状態の場合、「ホームエリアを設定してください」とメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は、[MENU/SET] ボタンを押し、「お住まいの地域（ホーム）を設定する」の ❷ の画面から設定してください。

■お住まいの地域（ホーム）を設定する

（左記手順 1、2、3 の操作を行ってください）

❶▼ で［ホーム］を選び、[MENU/SET] ボタンで決定する

❷◀/▶ でお住まいの地域を選択し、[MENU/SET] ボタンで決定する

• 画面左上に、現在時刻が表示され、画面左下には GMT（グリニッジ標準時）に対する時差が表示されます。
• ホームがサマータイム［☼⊙］（夏時間）を採用している場合は、▲ を押してください。もう一度押すと元に戻ります。
• ホームでのサマータイム設定では、現在の日時は進みませんので、時計設定（P18）を 1 時間進めてください。

ホームエリアの設定を終了するには

- はじめてホームを設定した場合は、ホームエリアを選択し、[MENU/SET] ボタンで決定すると、❶ の画面に戻りますので、続けて旅行先エリアの設定をすることができます。「旅行先エリアを設定する」の ❶ の画面へ進んでください。しばらく旅行の予定がない場合は、◀ を押して手順 3 の画面に戻り、[MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了してください。
- 2 回目以降設定する場合、[MENU/SET] ボタンを押してホームを決定すると、手順 3 の画面に戻ります。メニューを終了する場合は、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してください。

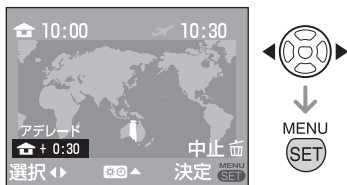
■旅行先エリアを設定する

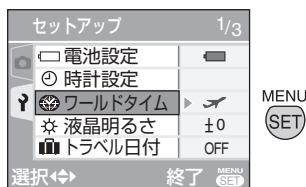
（58 ページ手順 1、2、3 の操作を行ってください）

❶▲ で［旅行先］を選び、[MENU/SET] ボタンで決定する

「旅行先」または「ホーム」の選ばれているほうの時間を表示します。

- はじめて旅行先エリアを設定する場合、時計表示はバー表示になります。

❷◀/▶ で旅行先のあるエリアを選択し、[MENU/SET] ボタンで決定する

- 画面右上に、選んだ旅行先エリアの現在時刻が表示され、画面左下には、ホームに設定したエリアとの時差が表示されます。
- 旅行先がサマータイム [☼◷]（夏時間）を採用している場合は、▲ を押してください。（時計が 1 時間進みます）もう一度 ▲ を押すと元に戻ります。

❸[MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- 旅行先の設定を行うと、アイコンが [🏠] から [✈] に変わります。

○○お知らせ○○

- 旅行から戻ったら、58ページ手順 1、2、3 の操作と、「お住まいの地域（ホーム）を設定する」の ❶、❷ の操作をして、設定をホームに戻してください。
- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。
- ワールドタイムは、かんたんモード[❤] にも反映されます。
- 旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に [✈] が表示されます。

撮影メニューを使う

モードダイヤル設定：

ホワイトバランスやカラーモードなどを設定すると、撮影のバリエーションが広がります。撮影モードにより、設定できるメニューは異なります。

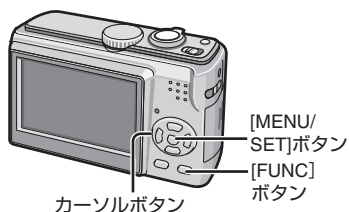
■メニュー画面から設定する

[MENU/SET] を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P20)

設定できる項目
（通常撮影モード [ ] 時）

画面	項目
1/3 画面	WB ホワイトバランス（P61）
	ISO ISO 感度（P62）
	アスペクト設定（P62）
	記録画素数（P63）
	クオリティ（P63）
2/3 画面	AF AF モード（P64）
	手ブレ補正（P65）
	連写（P66）
	AF✳ AF 補助光（P67）
	デジタルズーム（P33）
3/3 画面	カラーモード（P67）
	時計設定（P67）

■クイック設定を使う

撮影時に [FUNC] ボタンを使って、以下の項目（通常撮影モード [ ] 時）を簡単に設定することができます。
- 手ブレ補正
- 連写
- ホワイトバランス
- ISO 感度
- 記録画素数
- クオリティ

1 撮影状態で、クイック設定の項目が表示されるまで [FUNC] ボタンを押したままにする

2 ▲/▼/◀/▶ でメニュー項目と設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する

- **[FUNC] ボタンを押して終了することもできます。**

お知らせ

- クイック設定では、ホワイトバランスの [SET]（セットモード）は表示されません。

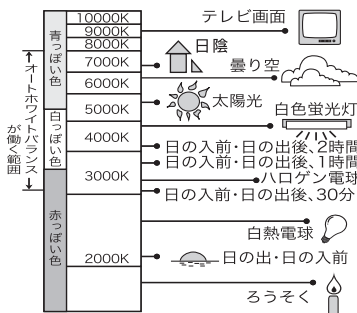
つづく

WB ホワイトバランス　自然な色合いに調整する

モードダイヤル設定：

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、撮影状況に合った項目に設定することで見た目に近い白色に調整します。

項目	撮影状況
AWB（オートホワイトバランス）	自動で設定するとき
（晴天）	屋外晴天下で撮影するとき
（曇り）	屋外曇天下で撮影するとき
（日陰）	屋外晴天下の日陰で撮影するとき
（白熱灯）	白熱灯下で撮影するとき
（セットモード）	あらかじめセットしている設定を使用するとき
SET（セットモード）	新しくホワイトバランスを設定するとき

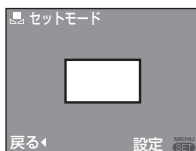
10000K
9000K
8000K
7000K
6000K
5000K
4000K
3000K
2000K
青っぽい色
白っぽい色
赤っぽい色
オートホワイトバランスが働く範囲
テレビ画面
日陰
曇り空
太陽光
白色蛍光灯
日の入前・日の出後、2時間
日の入前・日の出後、1時間
ハロゲン電球
日の入前・日の出後、30分
白熱電球
日の出・日の入前
ろうそく

■オートホワイトバランスについて

オートホワイトバランスが働く範囲は、上図のとおりです。範囲外での撮影では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合や白に近い色がない場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AWB] 以外に設定して調整してください。

■セットモードについて（SET）

手動でホワイトバランスを設定したいときに使用します。

❶［SET］（セットモード）を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷白い紙などに本機を向けて、画面の中央の枠内に白いものだけが写るようにし、[MENU/SET] ボタンを押す

❸[MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する
- シャッターボタン半押しでも終了できます。

○○(お知らせ)○○

- 設定したホワイトバランスは電源を [OFF] にしても記憶していますが、シーンモードを変更すると、シーンモードのホワイトバランスは [AWB] に戻ります。
- フラッシュ撮影時は、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- 以下の場合、ホワイトバランスの設定はできません。
  - ・かんたんモード［♥］
  - ・シーンモードの［風景］/［夜景 & 人物］/［夜景］/［料理］/［パーティー］/［キャンドル］/［夕焼け］/［ビーチ］/［星空］/［花火］/［雪］/［空撮］

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P20）

ISO ISO 感度 光に対する感度を設定する

モードダイヤル設定：

[カメラ] [マクロ]

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、高い数値に設定するほど、暗い場所での撮影に適しています。

- [AUTO] を選ぶと、明るさに応じて ISO 感度は自動的に最大 [ISO400]（フラッシュ発光時は最大 [ISO640]）まで高くなります。

ISO 感度	100	1250
屋外など明るい場所での撮影	適している	適していない
暗い場所での撮影	適していない	適している
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

○○お知らせ○○

- シーンモードの［高感度］（P52）では、[ISO3200] に固定されます。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、［カラーモード］を［ナチュラル］にして撮影することをおすすめします。（P67）
- インテリジェントISO感度モード[ ]時（P45）は、最高 ISO 感度の設定になります。
- 以下の場合、ISO 感度の設定はできません。
  - ・かんたんモード [♥]
  - ・動画撮影モード [ ]
  - ・シーンモード

アスペクト設定 画像の横縦比を設定する

モードダイヤル設定：

[カメラ] [iA] [マクロ] [SCN] [動画]

アスペクト（画像の横縦比）を変えると、被写体に合わせて画角を選択できます。

項目	効果
4:3	4:3 のテレビやパソコンの画面と同じ横縦比で撮影できます。
3:2	一般のフィルムカメラと同じ 3:2 の横縦比で撮影できます。
16:9	風景など被写体のワイド感を表現したいときや、ワイドテレビ、ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適しています。

○○お知らせ○○

- 動画撮影モード [ ] 時は [3:2] の選択はできません。（P54）
- 撮影した画像は、プリント時に端が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。（P104）

つづく

記録画素数 / クオリティ　用途に合わせて画素数、画質を設定する

モードダイヤル設定：

デジタル画像は画素という点が集まって作られています。本機の液晶モニターではその違いはわかりませんが、画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコン画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。クオリティはデジタル画像を保存するときの圧縮率です。

※画像は効果を説明するためのイメージです。

■記録画素数

大きい記録画素数［7M］(7M) に設定すると、より鮮明にプリントすることができます。
小さい記録画素数［0.3M］(0.3M EZ) に設定すると、より多くの画像が記録できます。また、データ容量が小さいので、Eメールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに便利です。

アスペクト設定が［4:3］のとき

項目	記録画素数
7M (7M)	3072 × 2304 画素
5M (5M EZ)	2560 × 1920 画素
3M (3M EZ)	2048 × 1536 画素
2M (2M EZ)	1600 × 1200 画素
1M (1M EZ)	1280 × 960 画素
0.3M (0.3M EZ)	640 × 480 画素

アスペクト設定が［3:2］のとき

項目	記録画素数
6M (6M)	3072 × 2048 画素
2.5M (2.5M EZ)	2048 × 1360 画素

アスペクト設定が［16:9］のとき

項目	記録画素数
5.5M (5.5M)	3072 × 1728 画素
2M (2M EZ)	1920 × 1080 画素

■クオリティ

項目	効果
(ファイン)	画質を優先し、高画質に記録します。(低圧縮)
(スタンダード)	記録可能枚数を優先し、画質は標準で記録します。(高圧縮)

◯◯お知らせ◯◯

- アスペクト設定によって、設定できる記録画素数は異なります。アスペクト設定を変更したときは、記録画素数の設定を行ってください。
- EZ とは「Ex. optical Zoom」の略で、EX 光学ズームを表します。（P31）
- シーンモードの［高感度］（P52）では、EX 光学ズームが働かないため、記録画素数の［EZ］は表示されません。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 記録可能枚数については、109 ページをお読みください。
- かんたんモード[♥]時は、以下の設定になります。
  - 引き伸ばし：
    7M［7M (4:3)］/ ファイン
  - L サイズ（3:2）：
    2.5M［2.5M EZ (3:2)］/ スタンダード
  - E メール：
    0.3M［0.3M EZ (4:3)］/ スタンダード

AF AF モード
ピントを合わせる方法を設定する

モードダイヤル設定：

撮影状況や撮りたい構図に合わせて使い分けてください。

項目	効果
（5 点）	5 点いずれかでピントを合わせます。被写体が中央にない場合に有効です。
H（1 点高速）	画面中央のAF エリア内に高速でピントを合わせます。
（1 点）	画面中央の AF エリア内にピントを合わせます。

つづく

■1 点高速について

- 他のAF モードより早くピントを合わせることができます。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合う前の状態で画像が一瞬静止することがありますが、故障ではありません。

◯◯お知らせ◯◯

- 暗い場所での撮影時またはデジタルズーム時は、通常よりも大きな AF エリアが表示されます。

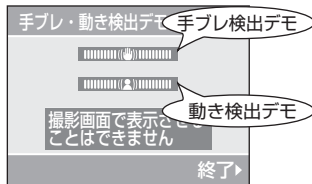
- AF エリアが複数（最大 5 個）点灯した場合は、点灯したすべての AF エリアにピントが合っています。
  カメラが自動的に判断した位置にピントが合うので、ピントが合う位置は決まっていません。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を 1 点高速または 1 点に切り換えてください。
- AF モードを 5 点に設定している場合には、ピントが合うまで AF エリアは表示されません。
- かんたんモード［♥］（P29）、シーンモードの［花火］（P53）では AF モードの設定はできません。

手ブレ補正
手ブレを感知して補正する

モードダイヤル設定：

項目	効果
MODE1	撮影モード時、常に手ブレを補正します。望遠などで構図を決めて撮影するときに安定して撮ることができます。
MODE2	シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。より高い補正効果が得られます。
OFF	意図的にブレのある画像を撮影したいときなどに設定します。

■手ブレ・動き検出デモについて

手ブレ補正モード選択画面で ▶ を押すと、手ブレ・動き検出デモ画面が表示されます。（表示中は撮影できません）終了する場合は、▶ を押してください。

- 手ブレの状態と被写体の動きをカメラが自動的に感知して、その状態をインジケーターで表示します。
- 手ブレ・動き検出デモ画面は目安です。
- 動き検出を使用した ISO 感度の自動設定は、インテリジェント ISO 感度モード［ ］（P45）、シーンモードの［スポーツ］（P48）、［赤ちゃん］（P50）、［ペット］（P51）時のみ動きます。

応用・撮る

MENU SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P20)

◯◯お知らせ◯◯

• 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  ・手ブレが大きいとき
  ・ズーム倍率が高いとき
  ・デジタルズーム領域
  ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき

  シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
• かんたんモード［♥］では［MODE2］、シーンモードの［星空］(P52)では［OFF］に固定されます。
• 動画撮影モード［🎞］時は、［MODE2］に設定できません。

連写　連写して撮る

モードダイヤル設定：

• [ON] に設定し、シャッターボタンを押している間、連続撮影されます。

◯◯お知らせ◯◯

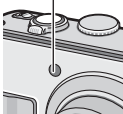
• **途中から連写速度が遅くなります。**遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数、クオリティによって変化します。
• 内蔵メモリーやカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
• ISO 感度（P45、62）が [ISO400] 以上になる場合、連写速度は遅くなります。
• 暗い場所ではシャッタースピードが遅くなるため、連写速度が遅くなる場合があります。
• ピントは 1 枚目で固定されます。
• 露出、ホワイトバランスは 1 枚ごとに調整されます。
• 屋内外など明暗差の大きい場所（風景）で動きのある被写体を追いながら撮影した場合、露出が安定するまでに時間をがかかる場合があります。このときに連写を行うと、最適な露出にならないことがあります。
• セルフタイマー使用時の連写枚数は、3 枚に固定されます。
• 連写設定は、電源を［OFF］にしても記憶しています。
• 連写を設定すると、オートレビューの設定にかかわらずオートレビューされます。セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
• フラッシュが発光するときは、1 枚しか撮影できません。
• かんたんモード［♥］(P29)、シーンモードの［星空］(P52)では連写設定できません。

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P20)

AF補助光 AF 補助光 暗い場所でピントを合わせやすくする

モードダイヤル設定：

撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。

- [ON] に設定すると、暗い場所などでシャッターボタンを半押ししたときに、通常よりも大きな AF エリア(P65)が表示され、AF 補助光ランプが光ります。このとき、画面に [AF補助光] が表示されます。補助光の有効距離は 1.5 m です。
- [OFF] に設定すると AF 補助光ランプは光りません。

◯◯お知らせ◯◯

- AF 補助光使用時は以下の点にお気をつけください。
  - ・近くで発光部を見ない
  - ・AF 補助光ランプを指などでふさがない
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所で AF 補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF] に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- かんたんモード [♥] 時は、[ON] に固定されます。
- シーンモードの［風景］(P48)、[夜景］(P49)、[夕焼け］(P50)、[花火］(P53)、[空撮］(P53)では、[OFF] に固定されます。
- シーンモードの［ペット］(P51)では初期設定が [OFF] になります。

カラーモード 撮影する画像の色彩効果、画質を設定する

モードダイヤル設定：

撮影状況、撮影イメージに合わせて使い分けてください。

項目	効果
ナチュラル	より柔らかいイメージの画像になります。
ヴィヴィッド	よりくっきりとしたイメージの画像になります。
白黒	白黒画像になります。
セピア	セピア色の画像になります。

◯◯お知らせ◯◯

- 暗い場面で撮影するとき、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[カラーモード] を [ナチュラル] にすることをおすすめします。

時計設定 年月日、時刻、表示を設定する

モードダイヤル設定：

日付や時刻を変更するときに設定してください。(P18)

応用・撮る

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

モードダイヤルを[▶]に合わせてください。

1 ズームレバーを［■］（W）側に回して画像を複数にする
（9 画面表示時の画面）

1 画面 ⇨ 9画面 ⇨ 25 画面

⇨ カレンダー画面表示（P69）

- ズームレバーを［Q］（T）側に回すと、一つ前の画面に戻ります。

2 ▲/▼/◀/▶ で画像を選ぶ

選択画像番号/
トータル枚数

- 撮影画像や設定によって、以下のアイコンが表示されます。
  - ・お気に入り［★］
  - ・動画［▦］
  - ・シーンモードの［赤ちゃん］［▦］、［ペット］［▦］
  - ・トラベル日付［▦］
  - ・旅行先［▦］
  - ・日付焼き込み済み［▦］

■25 画面表示の例

■1 画面表示に戻すには

［Q］（T）の方に回すか、[MENU/SET]ボタンを押す

- 選択されていた画像が表示されます。

■マルチ再生中に画像を削除する

❶▲/▼/◀/▶ で画像を選び、［🗑］ボタンを押す
❷▲ で［はい］を選ぶ
❸[MENU/SET] ボタンを押す

○○お知らせ○○

- マルチ再生時は［DISPLAY］ボタンを押しても、液晶モニターの撮影情報などを表示なしにすることはできません。
- ［回転表示］を［ON］にしていても回転表示されません。（P75）

画像を撮影日ごとに表示する（CAL カレンダー再生）

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

カレンダー再生機能を使うと、撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 ズームレバーを［▦］（W）側に数回回して、カレンダー画面表示にする

- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ で再生する日付を選ぶ

▲/▼ : 月を選択

◀/▶ : 日を選択

- 撮影した画像が 1 枚もない月は表示されません。

3 [MENU/SET] ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

- カレンダー画面表示に戻すには、ズームレバーを［▦］（W）側に回してください。

4 ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択されていた画像が表示されます。

■カレンダー再生を終了するには

カレンダー画面表示にしたあと、ズームレバーを［Q］（T）側に回すと 25 画面表示、9画面表示（P68）、1 画面表示になります。

◯◯お知らせ◯◯

- ［回転表示］を［ON］にしていても回転表示されません。（P75）
- カレンダーの表示できる範囲は、2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
- マルチ再生の 25 画面表示で、2000 年 1 月から 2099 年 12 月以外に撮影された画像を選んでいる場合、カレンダー表示にすると、選んでいる画像はもっとも古い撮影日に表示されます。
- パソコンや他機で加工した画像などは、実際の撮影日とは異なった表示になる場合があります。
- ［時計設定］（P18）を行わずに撮影した場合、2007 年 1 月 1 日に表示されます。
- ワールドタイム（P58）で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時でカレンダー表示されます。

再生画面を拡大する（再生ズーム）

モードダイヤルを[▶]に合わせてください。

1 ズームレバーを［🔍］（T）側に回して画像を拡大する

1倍 ⇨ 2倍 ⇨ 4倍 ⇨ 8倍 ⇨ 16倍

- 拡大したあと、ズームレバーを［▦］（W）側に回すと、倍率が小さくなります。［🔍］（T）側に回すと大きくなります。
- 倍率を変えると、約1秒間ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。

2 ▲/▼/◀/▶ で位置を移動させる

- 表示する位置を移動させると、約1秒間ズーム位置表示が表示されます。

■再生ズームをやめるには

［▦］（W）の方に回すか、[MENU/SET]ボタンを押す

■再生ズーム中に画像を削除する

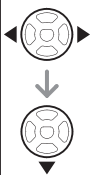
❶［🗑］ボタンを押す
❷▲で［はい］を選ぶ
❸[MENU/SET] ボタンを押す

◯◯お知らせ◯◯

- 再生ズーム中も[DISPLAY]ボタンを押して、液晶モニターの撮影情報などを表示なしにすることができます。
- 再生ズームは、拡大するほど画質が粗くなります。
- 撮影した画像を拡大して保存したい場合は、トリミングを行ってください。(P83)
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。

動画を見る

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

◀/▶ で動画アイコン［30fps VGA］/［10fps VGA］/［30fps QVGA］/［10fps QVGA］/［30fps 16:9］/［10fps 16:9］が付いた画像を選び、▼ を押して再生する

- 再生を開始すると、画面右下に再生経過時間が表示されます。
  例）1 時間 20 分 30 秒のとき：
  1h20m30s

- 再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

動画再生を終了する
▼ をボタンを押す

早送り / 早戻しをする
動画再生中に ◀/▶ を押したままにする
◀：早戻し　▶：早送り
- ◀/▶ を離すと、通常の動画再生に戻ります。

一時停止する
動画再生中に ▲ を押す
- もう一度 ▲ を押すと一時停止が解除されます。

コマ送り / コマ戻しをする
一時停止中に ◀/▶ を押す

◯◯お知らせ◯◯
- 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」をご使用ください。（P87）
- パソコンや他機で記録された QuickTime Motion JPEG ファイルは本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が粗くなったり、再生できない場合があります。
- 他機で撮影された音声付き動画は、本機では音声を再生できません。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。
- 動画は、以下の機能が使えません。
  ・再生ズーム
  （動画再生 / 一時停止中）
  ・回転表示
  ・画像回転
  ・日付焼き込み
  ・リサイズ
  ・トリミング

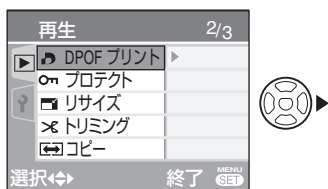
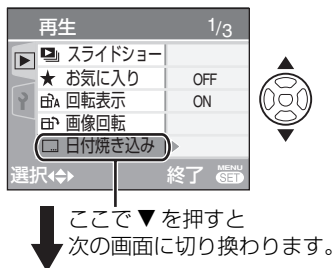
再生メニューを使う

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ でメニュー項目を選び、▶ を押す

ここで ▼ を押すと
次の画面に切り換わります。

- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。
- **手順 1、2 の操作を行ったあとは、各メニュー項目の説明ページを読んで設定を行ってください。**

設定できる項目

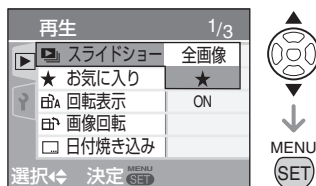
画面	項目
1/3 画面	スライドショー（P73）
	★ お気に入り（P74）
	回転表示（P75）
	画像回転（P75）
	日付焼き込み（P76）
2/3 画面	DPOF プリント（P78）
	プロテクト（P80）
	リサイズ（P82）
	トリミング（P83）
	コピー（P84）
3/3 画面	フォーマット（P85）

つづく

スライドショー　画像を一定間隔で順番に再生する

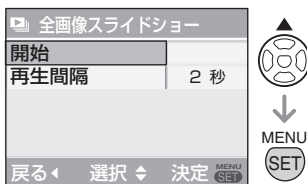
テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。「お気に入り」設定(P74)しておけば不要な画像をとばして見ることができます。

- [お気に入り]を[ON]→手順**1**へ
- [お気に入り]を[OFF]→手順**2**へ

1 ▲/▼で[全画像]または[★]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

全画像：すべての画像を表示します。
★：お気に入り設定した画像(P74)のみ表示します。

- [お気に入り]を[ON]に設定していても、[★]の付いた画像が1枚もない場合は、[★]を選択できません。

2 ▲で[開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

([全画像]選択時の画面)

- スライドショー中、スライドショー一時停止中、または[MANUAL]スライドショー中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶に対応しています。

スライドショー中　スライドショー一時停止中　[MANUAL]スライドショー中

- スライドショー中に▲を押すと、一時停止します。もう一度▲を押すと一時停止が解除されます。
- 一時停止中に◀/▶を押すと前後の画像を表示できます。

3 ▼を押してスライドショーを終了する

■再生間隔設定について

手順**2**の画面で[再生間隔]を選んで設定してください。

[再生間隔]

1、2、3、5秒、MANUAL(マニュアル)(手動再生)の中から設定できます。

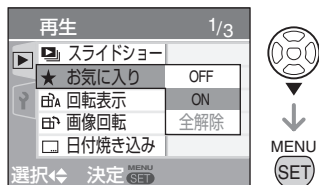
- [MANUAL]は、手順**1**で[★]を選んだときのみ選択できます。
- [MANUAL]を選んだ場合は、◀/▶を押して前後の画像を表示してください。

- 以下の機能が使えません。
  - ・パワーセーブ(ただし、スライドショー一時停止中または[MANUAL]スライドショー中は、10分固定でパワーセーブが働きます)
  - ・動画再生

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P72)

★ お気に入り　お気に入りの画像を設定する

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。
- お気に入りに設定した画像以外を削除する。([★以外全削除])(P36)
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。(P73)
- お気に入りに設定した画像のみ印刷する。(P90)

1 ▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [OFF] に設定するとお気に入り設定できません。また、すでにお気に入り設定をしている場合も、お気に入り表示 [★] は表示されません。
- [★] の付いた画像が 1 枚もない場合は、[全解除] を選択できません。

2 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

3 ◀/▶ で画像を選び、▲ で設定する

- この手順を繰り返します。
- お気に入り表示 [★] が表示されているときに ▲ を押すと、[★] が消え、お気に入り設定が解除されます。
- お気に入り設定は999 枚まで設定できます。

■お気に入り設定を全解除する

❶手順 **1** の画面で [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
❷▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
❸[MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

○○お知らせ○○

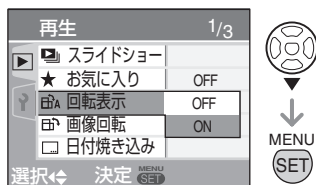
- お店にプリントを依頼するときに、[★以外全削除] (P36) の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。
- CD-ROM (付属) のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って、お気に入りの画像の設定や確認、解除をすることができます。(詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください)
- 他機で撮影された画像では、お気に入り設定ができない場合があります。

つづく

回転表示 / 画像回転　画像を回転して表示する

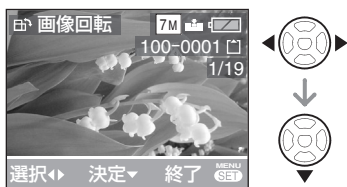
本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で 90°ごとに回転させることができます。

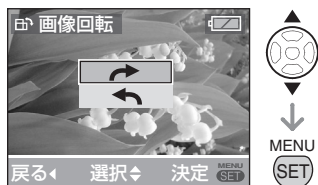
■回転表示（画像を自動で回転して表示する）

1 ▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [OFF] に設定すると画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については35ページをお読みください。

2 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

■画像回転（画像を手動で回転させる）

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- [回転表示] を [OFF] に設定すると、[画像回転] は選択できません。
- 動画、プロテクトされた画像は回転できません。

2 ▲/▼ で回転方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

↷ : 時計回りに 90°回転します。
↶ : 反時計回りに 90°回転します。

3 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

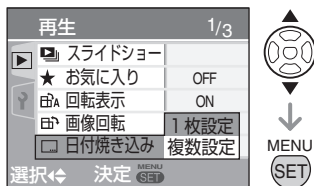
○○お知らせ○○

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。(P28)
- ビデオケーブル（付属）を使用して本機をテレビに接続し、画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- パソコンで再生するとき、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exif とは、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです]
- 回転された画像を再生レビュー、または再生ズームした場合は回転表示されていますが、マルチ再生で再生した場合は回転表示はされません。
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P72)

日付焼き込み　撮影画像に日付などの情報を焼き込む

撮影した画像に、撮影日付 / 年齢・月齢 / トラベル日付を焼き込むことができます。Lサイズでプリントする場合に適しています。(記録画素数が [3M] より大きい画像はリサイズされます)

▲/▼ で［1 枚設定］または［複数設定］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 以下の画像は日付情報を焼き込むことができません。
  - ·時計を設定せずに撮影された画像
  - ·他機で撮影された画像
  - ·すでに日付焼き込みされている画像
  - ·動画

■［1 枚設定］選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

2 ▲/▼/◀/▶ で［撮影日時］、［月齢 / 年齢］または［トラベル日付］を選び、[MENU/SET] ボタンを押してそれぞれの項目を設定する

［撮影日時］

日付	年月日を焼き込みます。
日時	年月日時分を焼き込みます。

［月齢 / 年齢］(P50、51)

[ON] に設定すると、月齢 / 年齢が設定された画像に月齢 / 年齢を焼き込みます。

［トラベル日付］(P56)

[ON] に設定すると、トラベル日付が設定された画像にトラベル日付を焼き込みます。

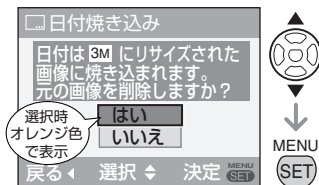
3 [MENU/SET] ボタンを押す

- 記録画素数が[3M]より大きい画像に日付焼き込みを行う場合は、以下のように記録画素数が小さくなります。

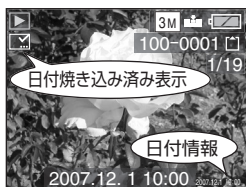
アスペクト設定	記録画素数
4:3	7M / 5M → 3M
3:2	6M → 2.5M
16:9	5.5M → 2M

つづく

4 ▲/▼で［はい］または［いいえ］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

（記録画素数が［7M］で撮影された画像を選択時の画面）

- 記録画素数が［3M］以下で撮影された画像の場合は、「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。
- ［はい］を選ぶと画像が上書きされます。日付焼き込みされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- ［いいえ］を選ぶと日付焼き込みされた画像が新しく作成されます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。［いいえ］を選んで日付焼き込みされた画像を新しく作成してください。

5 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

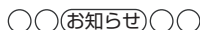
- 日付を焼き込みされた画像には画面に［ ］が表示されます。
- 焼き込んだ日付情報は再生ズームを使ってご確認ください。（P70）

■［複数設定］選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ で設定 / 解除する

設定：日付焼き込み表示が出ます。
解除：日付焼き込み表示が消えます。
- この手順を繰り返します。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

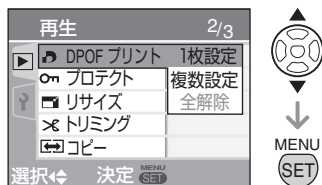
- **手順2の操作を行ったあとは、[1枚設定]選択時の手順 2 以降の操作をしてください。**

お知らせ

- **日付焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。**
- 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に余裕がある状態で日付焼き込みを行うことをおすすめします。
- [複数設定]で一度に設定できるのは50枚までです。
- [複数設定] でプロテクトされた画像が含まれていた場合、手順 4 で [はい] を選ぶとメッセージが表示され、プロテクトされた画像のみ日付焼き込みができません。
- 使用するプリンターによっては文字が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。
- 日付情報を焼き込んだ画像は、以下の機能が使えません。
  - ・日付焼き込み
  - ・DPOF プリントの日付プリント設定
  - ・リサイズ
  - ・トリミング

MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P72)

DPOF(ディーポフ) プリント　プリントしたい画像と枚数を設定する

DPOF プリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。
内蔵メモリーの画像をお店でプリントしたいときは、カードにコピー(P84)してから DPOF プリント 設定してください。

▲/▼ で［1 枚設定］、［複数設定］または［全解除］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- DPOF プリント設定された画像が 1 枚もない場合は、［全解除］を選択できません。

■［1 枚設定］選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▲/▼ でプリント枚数を設定する

- プリント枚数は 0 ～ 999 枚まで設定できます。このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■［複数設定］選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▲/▼ でプリント枚数を設定する

- この手順を繰り返します。(一括設定することはできません)
- プリント枚数は 0 ～ 999 枚まで設定できます。このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

つづく

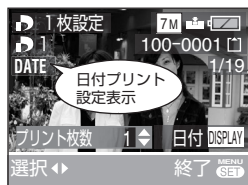
■[全解除]選択時

1 ▲で[はい]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

- カードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データについてDPOFプリント設定が解除されます。

■日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY]ボタンを押すごとに日付プリントを設定 / 解除できます。

- お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることをお店で別途指定してください。
- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 日付焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。
- 本機で日付プリントを設定した画像に日付焼き込みを行うと、設定が解除されます。

○○お知らせ○○

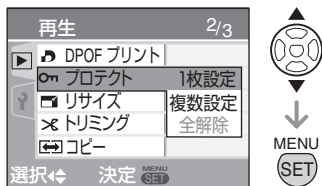
- DPOFとはDigital Print Order Formatの略です。DPOF対応のシステムで活用できるようにプリント情報を書き込むことができるようにしたものです。
- DPOFプリント設定すると、PictBridge対応のプリンターで出力するときにも便利です。日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。(P89)
- 本機でDPOFプリント設定するときは、他機で設定されたDPOF情報をすべて解除する必要があります。
- DCF規格(P35)に準拠していないファイルはDPOFプリント設定できません。

応用・見る

MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P72）

プロテクト　画像の誤消去を防止する

画像を誤って削除することがないように、削除したくない画像にプロテクトを設定することができます。

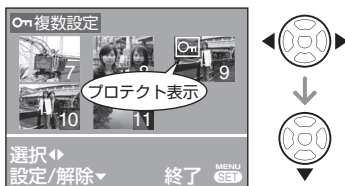
▲/▼で［1 枚設定］、［複数設定］または［全解除］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

■［1 枚設定］選択時

1 ◀/▶で画像を選び、▼で設定 / 解除する

設定：プロテクト表示が出ます。
解除：プロテクト表示が消えます。

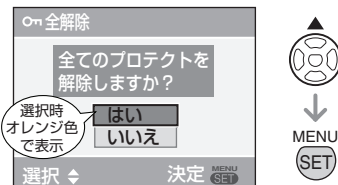
2 ［MENU/SET］ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■［複数設定］選択時

1 ◀/▶で画像を選び、▼で設定 / 解除する

設定：プロテクト表示が出ます。
解除：プロテクト表示が消えます。
• この手順を繰り返します。

2 ［MENU/SET］ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■［全解除］選択時

1 ▲で［はい］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

• 全解除中に［MENU/SET］ボタンを押すと途中で全解除が中止されます。

2 ［MENU/SET］ボタンを押してメニューを終了する

• カードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データについてプロテクト設定が解除されます。

つづく

◯◯お知らせ◯◯

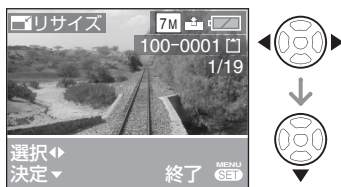
- プロテクト設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- プロテクトされた画像は削除できません。ファイルを削除したいときは、プロテクト設定を解除してください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。（P85）
- プロテクト設定をしていなくても、SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、画像の削除はできません。

- 画像をプロテクトすると画像回転できません。

MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P72)

リサイズ　画素数を小さくする

E メール添付やホームページ用に、撮影した画像の容量を小さくすることができます。

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

• 以下の画像はリサイズできません。

アスペクト設定	記録画素数
4:3	0.3M
3:2	2.5M
16:9	2M

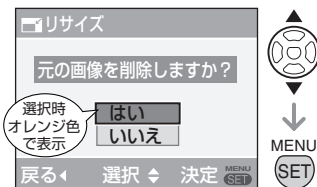
· 動画
· 日付焼き込みされた画像

2 ◀/▶ でサイズを選び、▼ を押す

• 撮影した画像のサイズよりも、小さなサイズが表示されます。

アスペクト設定	記録画素数
4:3	5M / 3M / 2M / 1M / 0.3M
3:2	2.5M
16:9	2M

• 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

3 ▲/▼ で［はい］または［いいえ］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

• ［はい］を選ぶと画像が上書きされます。リサイズされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
• ［いいえ］を選ぶとリサイズされた画像が新しく作成されます。
• 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。［いいえ］を選んでリサイズされた画像を新しく作成してください。

4 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

○○お知らせ○○

• 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。

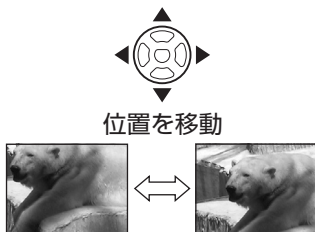
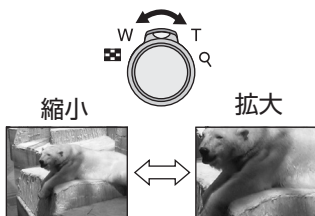
つづく

トリミング　画像を拡大して切り抜く

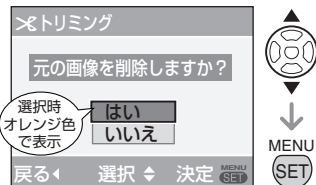
撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- 以下の画像はトリミングできません。
  - ・動画
  - ・日付焼き込みされた画像

2 ズームレバーと ▲/▼/◀/▶ で切り抜く部分を選ぶ

3 シャッターボタンを押す

- 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

4 ▲/▼ で［はい］または［いいえ］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ［はい］を選ぶと画像が上書きされます。トリミングされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- ［いいえ］を選ぶとトリミングされた画像が新しく作成されます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。［いいえ］を選んでトリミングされた画像を新しく作成してください。

5 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

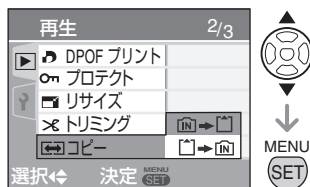
お知らせ

- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が粗くなります。
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。

MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P72)

コピー　画像データをコピーする

撮影した画像データを内蔵メモリーからカード、またはカードから内蔵メモリーにコピーすることができます。

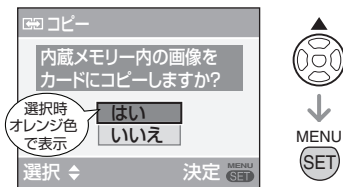
1 ▲/▼ で画像データのコピー方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[IN]→[カード]:
内蔵メモリーからカードへ全画像が一括コピーされます。→手順 3 へ

[カード]→[IN]:
カードから内蔵メモリーへ 1 枚ずつコピーされます。→手順 2 へ

2 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

([[カード]→[IN]] 選択時のみ)

3 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

(内蔵メモリーからカードへ一括コピーするときの画面)

- カードから内蔵メモリーにコピーする場合、「この画像を内蔵メモリーにコピーしますか？」とメッセージが表示されます。
- 内蔵メモリーからカードへのコピー中に[MENU/SET]ボタンを押すと、途中でコピーが中止されます。
- コピーが終了するまで、電源を切ったり、他の操作をしないでください。内蔵メモリーやカードのデータが壊れたり、消失することがあります。

4 [MENU/SET] ボタンを数回押してメニューを終了する

- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、すべての画像をコピーできたときは、自動的に再生画面に戻ります。

お知らせ

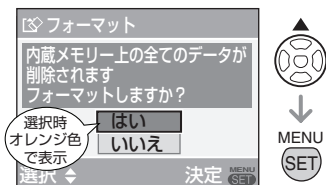
- 内蔵メモリーからカードへコピーする場合、カードの空き容量が小さいと途中までしか画像データをコピーできません。内蔵メモリー (約 27 MB) より空き容量の多いカードを使用することをおすすめします。
- コピーする画像と同じ名前 (フォルダー番号 / ファイル番号) の画像がコピー先にある場合、その画像はコピーされません。(P97)
- コピーに時間がかかる場合があります。
- 当社製デジタルカメラ (LUMIX) で撮影した画像のみコピーされます。
(当社製デジタルカメラで撮影した画像でも、パソコンなどで編集された画像はコピーできない場合があります)
- DPOF 設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。(P78)

MENU/SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P72)

フォーマット　内蔵メモリーまたはカードを初期化する

通常、内蔵メモリーやカードはフォーマットする必要はありません。「内蔵メモリーエラー」、または「メモリーカードエラー」とメッセージが表示された場合などにフォーマットしてください。

▲ で［はい］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

(内蔵メモリーをフォーマットするときの画面)

- カードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードをフォーマットすることができます。
- 内蔵メモリーのフォーマット中に [MENU/SET] ボタンを押すと、途中でフォーマットが中止されます。(ただし、フォーマットを中止しても画像はすべて削除されます)

〇〇お知らせ〇〇

- プロテクトされた画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- フォーマットするときは、容量が十分にある電池 (P25) または AC アダプター (別売：DMW-AC6) を使用してください。
- フォーマット中は電源を［OFF］にしないでください。
- カードより内蔵メモリーの方がフォーマットに時間がかかる場合があります。(最大約 15 秒)
- SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは、フォーマットできません。

- フォーマットできないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。

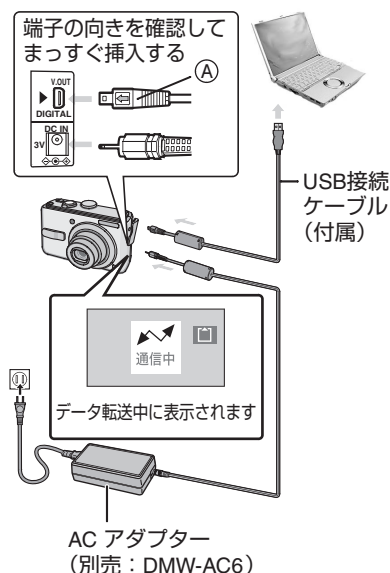
応用・見る

パソコンと接続する

モードダイヤル設定：

本機をパソコンと接続すると、画像を取り込むことができます。また、CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」（Windows® 用）を使うと、パソコンに画像を取り込んで印刷したり、メールで送ることが簡単にできます。

Windows 98/98SE をご使用の方のみ、USB ドライバーのインストールを行ってから接続してください。

CD-ROM（付属）のソフトウェアやインストールなど詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」を参照してください。

- 容量が十分にある電池（P25）または AC アダプター（別売：DMW-AC6）を使用してください。
- 本機の電源を [OFF] にしてから、AC アダプター（別売：DMW-AC6）のケーブルを抜き差ししてください。
- モードダイヤルをプリントモード [ ] 以外に合わせてください。

1 本機とパソコンの電源を入れる

2 USB 接続ケーブル（付属）で、本機とパソコンを接続する

- USB接続ケーブルの[ ]マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- USB 接続ケーブルは、Ⓐ 部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して本機や接続する機器の故障の原因になります）

Windows の場合

[マイコンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

- はじめて接続したときは、Windows のプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと [マイコンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

Macintosh の場合

画面上にドライブが表示されます。

- カードを入れずに接続した場合は、[LUMIX] と表示されます。
- カードを入れて接続した場合は、[NO NAME] または [名称未設定] と表示されます。

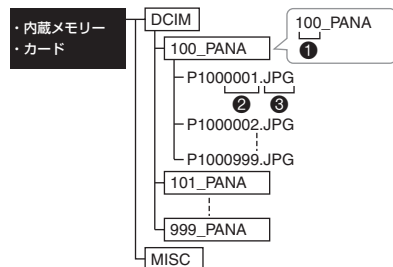
つづく

■パソコンでの動画再生について

本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」（Windows2000/XP用）をご使用ください。

- Windows98/98SE/Meをお使いの場合は、下記のサイトから［QuickTime6.5.2 for PC］をダウンロードしてインストールしてください。
  http://www.apple.com/jp/support/quicktime/
- Macintoshには標準で搭載されています。

■フォルダー構造について

フォルダーは下図のように表示されます。

❶フォルダー番号
❷ファイル番号
❸JPG：画像
　MOV：動画

MISC:DPOF 設定が記録されたファイルがあるフォルダー

- 本機で記録した場合は、1つのフォルダーにつき最大 999 枚の画像データが入ります。それを超えると次のフォルダーが作成されます。
- ファイル番号やフォルダー番号をリセットする場合は、セットアップメニューの［番号リセット］を行ってください。(P23)

■フォルダー番号が変更される条件について

下記の条件で撮影を行った場合、画像ファイルは直前に記録されたフォルダーとは異なる、新しい番号のフォルダーの中に記録されます。

1 直前に記録されたフォルダーの中にファイル番号 999 の画像ファイル（例：P1000999.JPG）がある場合。
2 直前に記録されたカードの中に、例えばフォルダー番号 100 のフォルダー（100_PANA）があるときに、そのカードを抜いて新たに他社のカメラで撮影した、フォルダー番号 100 のフォルダー（100XXXXX、XXXXX はメーカー名など）があるカードを挿入して撮影した場合。
3 セットアップメニューから［番号リセット］（P23）を選び、実行したあとに撮影した場合。（直前に記録されたフォルダーの続きの番号の新しいフォルダーに記録されます。フォーマット直後など、カードの中にフォルダーや画像がない状態で［番号リセット］を実行すると、フォルダー番号を 100 に戻すこともできます）

■PTPモードでの接続について

Windows XP、Mac OS X をお使いの場合は、プリントモード［ ］に合わせてパソコンに接続すると、PTP モードで接続ができます。

- 本機からは、画像の読み出しのみ行うことができます。カードへの書き込みや、削除はできません。
- カードの中に 1000 枚以上画像があると、取り込めない場合があります。

他の機器との接続

お知らせ

- 付属のUSB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- 「通信中」と表示されている間は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
- 内蔵メモリーやカードの画像枚数が多いと、転送に時間がかかります。
- パソコンと本機を接続した状態では、内蔵メモリーやカード内の動画を正常に再生できない場合があります。動画ファイルはパソコンに取り込んでから再生してください。
- 通信中に電池残量がなくなると、データが破壊される恐れがあります。接続するときは、容量が十分にある電池（P25）または AC アダプター（別売：DMW-AC6）を使用してください。
- 通信中に電池残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐにパソコン側で通信を中止してください。
- **Windows 2000 を使用して USB 接続した場合には、接続したままでカードの交換を行わないでください。カード内の情報を破壊する恐れがあります。カードの交換をするときは、パソコン側でタスクトレイの「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」の操作を行ってください。**
- パソコンで回転された画像や編集された画像は、再生モード時（P35）、マルチ再生時（P68）、カレンダー再生時（P69）に黒く表示されることがあります。
- パソコンの説明書もお読みください。
- 接続したときにカードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データを扱うことができます。
- 接続中は内蔵メモリー/ カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度USB 接続ケーブルを外し、カードを入れて（または取り出して）から接続し直してください。
- パソコンと接続中にモードダイヤルをプリントモード [ ] に変更すると、「プリンターと接続しなおしてください」と表示されます。プリンターと接続する場合は、[ ] 以外のモードに変更し、データ転送中でないことを確認してください。（データ転送中は、本機の液晶モニターに「通信中」と表示されます。）

プリントする（🖨：プリントモード）

PictBridge 対応プリンターに接続してプリントする

モードダイヤル設定：🖨

USB 接続ケーブル（付属）を使って本機を PictBridge に対応したプリンターに直接接続し、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。あらかじめプリンター側で印字品質などのプリントの設定をしてください。（プリンターの説明書をお読みください）

1 本機とプリンターの電源を入れる

2 モードダイヤルを [🖨] に合わせる

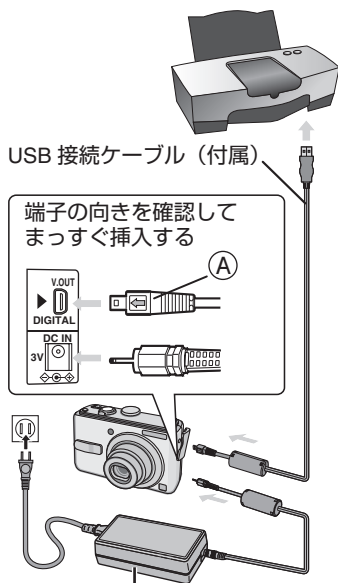
- 「プリンターと接続してください」と表示されます。

3 USB 接続ケーブル（付属）で、本機とプリンターを接続する

- USB接続ケーブルの[⬅]マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- USB 接続ケーブルは、Ⓐ 部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

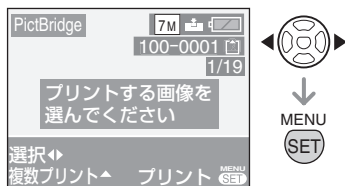
お知らせ

- モードダイヤルを［🖨］に合わせずに接続した場合、一度 USB 接続ケーブルを抜き、モードダイヤルを［🖨］に合わせ直してから接続し直してください。（プリンターによっては、電源の入れ直しが必要な場合があります）
- 付属のUSB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- 接続したときにカードが入っていない場合は内蔵メモリー、カードが入っている場合はカードの画像データを扱うことができます。
- 接続中は内蔵メモリー/カードの切り換えはできません。切り換える場合は一度 USB 接続ケーブルを外し、カードを入れて（または取り外して）から接続し直してください。
- シーンモードの［赤ちゃん］（P50）や［ペット］（P51）の月齢 / 年齢、トラベル日付（P56）の経過日数をプリントしたい場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使ってパソコンからプリントしてください。詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

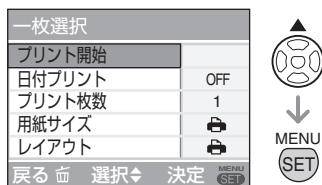
■接続する

- プリントに時間がかかる場合がありますので、接続するときは容量が十分にある電池（P25）または AC アダプター（別売：DMW-AC6）を使用してください。
- 本機の電源を [OFF] にしてから、AC アダプター（別売：DMW-AC6）のケーブルを抜き差ししてください。

他の機器との接続

■画像を選んで１枚ずつプリントする

1 ◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

• メッセージは約 2 秒後に消えます。

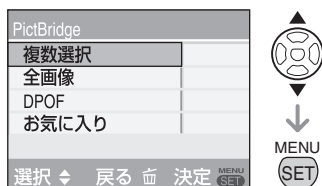
2 ▲ で［プリント開始］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

一枚選択
プリント開始
日付プリント OFF
プリント枚数 1
用紙サイズ
レイアウト
戻る 選択 決定

• 途中でプリントを中止したい場合は [MENU/SET] ボタンを押してください。

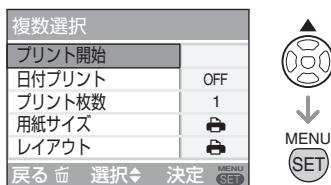
3 プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜く

■複数の画像を選んでプリントする

1 ▲ を押す

2 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

項目	設定内容
複数選択	複数の画像を一度にプリントします。 • 複数選択時の画面で◀/▶で画像を選び、▼ を押すとプリントする画像に［🖶］が表示されます。(もう一度 ▼ を押すと設定が解除されます） 選択が終了したら [MENU/SET] ボタンを押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
DPOF	[DPOF] 設定（P78）された画像のみをプリントします。
お気に入り※	［お気に入り］設定（P74）された画像のみをプリントします。

※［お気に入り］（P74）を [ON] に設定しているときのみ表示されます。（ただし、［お気に入り］を [ON] に設定していても、[★] の付いた画像が 1 枚もない場合は、選択できません）

3 ▲ で［プリント開始］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

• [DPOF] 選択時は、［日付プリント］と［プリント枚数］の項目は表示されません。

つづく

- [DPOF] 選択時は、[DPOF 設定] が表示されます。[DPOF 設定] を選択した場合は、78 ページを参照してください。
- 途中でプリントを中止したい場合は [MENU/SET] ボタンを押してください。
- [複数選択]、[全画像]、[お気に入り] 選択時は、プリント確認画面が表示されますので、[はい] を選んでプリントしてください。
- プリント枚数が 1000 枚を超えたときは、プリント確認画面で、[ーーー枚プリントします。よろしいですか？] と表示されます。

4 プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜く

■日付プリント、プリント枚数、用紙サイズ、レイアウトの設定について

「画像を選んで 1 枚ずつプリントする」の手順 **2** または「複数の画像を選んでプリントする」の手順 **3** の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を [（プリンター）] にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）

日付プリント

OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。

プリント枚数

プリントする枚数を設定してください。

- 最大 999 枚まで設定できます。

用紙サイズ

（本機で設定可能な用紙サイズ）
1/2 と 2/2 に分かれて表示されます。
▼ を押して選択してください。

1/2	
（プリンター）	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5" × 5"	89 mm × 127 mm
2L/5" × 7"	127 mm × 178 mm
はがき	100 mm × 148 mm
A4	210 mm × 297 mm

2/2 ※	
カード	54 mm × 85.6 mm
10 × 15cm	100 mm × 150 mm
4" × 6"	101.6 mm × 152.4 mm
8" × 10"	203.2 mm × 254 mm
レター	216 mm × 279.4 mm

※プリンターが対応していない場合は、これらの項目は表示されません。

レイアウト

（本機で設定可能なレイアウト）

（プリンター）	プリンターの設定が優先されます。
（1 面ふちなし）	1 面ふちなし印刷
（1 面ふちあり）	1 面ふちあり印刷
（2 面）	2 面印刷
（4 面）	4 面印刷

- プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■レイアウト印刷について

- **1 枚の用紙に同じ画像を印刷する場合**
  例えば、1 枚の用紙に同じ画像を４枚印刷する場合、[レイアウト] を 4 面印刷 [（4 面）] に設定し、印刷したい画像の [プリント枚数] を４枚に設定してください。

• **1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合**
例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト] を4面印刷 [ ] に設定し、[プリント枚数] を1枚に設定してください。

◯◯お知らせ◯◯

• ケーブル切断禁止アイコン [ ] が表示されているときは、USB 接続ケーブルを抜かないでください。(プリンターによっては表示されない場合があります)
• 接続中に電池残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴ります。プリント中の場合は、[MENU/SET] ボタンを押して、すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB 接続ケーブルを抜いてください。
• プリント中にオレンジ色の [●] のアイコンが表示されているときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
• プリント枚数の合計やプリント設定された画像が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示が設定枚数と異なりますが、故障ではありません。
• 日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。
• 接続中にモードダイヤルをプリントモード [ ] 以外に合わせると、「モードが変わりました　USB 接続ケーブルを抜いてください」と表示されます。モードダイヤルを [ ] に戻してから、USB 接続ケーブルを抜いてください。プリント中の場合は、モードダイヤルを [ ] に戻しプリントを中止してから、USB 接続ケーブルを抜いてください。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼きこむ

日付焼き込みの機能を使って、画像に日付を焼き込むことができます。(P76)

・**お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。**

日付プリントを設定する

DPOFプリント設定のプリント枚数設定時に[DISPLAY]ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。(P79)

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。(シーンモードの[赤ちゃん]や[ペット]の月齢/年齢、トラベル日付のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。(P89)

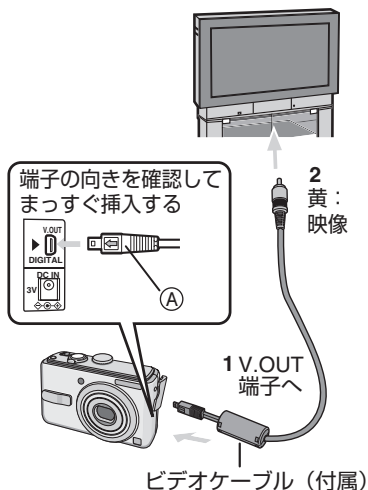
CD-ROM(付属)のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」をお使いの場合は、印刷設定で日付入りに設定すると日付プリントができます。詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

テレビで見る

モードダイヤルを[▶]に合わせてください。

■ビデオケーブル（付属）を使って見る

- TV アスペクトを設定する（P24）
- 本機の電源を [OFF] にし、テレビの電源も切っておく。

ビデオケーブル（付属）

1 **本機の [V.OUT] 端子にビデオケーブルを確実に接続する**

- ビデオケーブルの [⟵] マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- ビデオケーブルは、Ⓐ 部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

2 **テレビの映像入力端子にビデオケーブルを接続する**

3 **テレビの電源を入れ、外部入力にする**

4 **本機の電源を [ON] にする**

◯◯お知らせ◯◯

- アスペクト設定によって、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のビデオケーブル以外は使わないでください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。

■SD メモリーカードスロット付テレビで見る

SD メモリーカードスロット付テレビに撮影したSD メモリーカードを入れて、静止画を再生することができます。

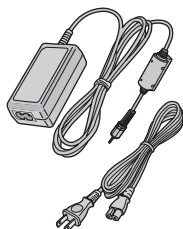
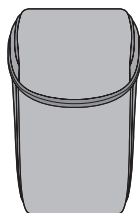
◯◯お知らせ◯◯

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 動画を再生することはできません。動画を再生したい場合は、ビデオケーブル（付属）を使用し、本機をテレビに接続してください。
- マルチメディアカードは再生できないことがあります。

■海外のテレビで見る

セットアップメニューの [ビデオ出力] で [NTSC] または [PAL] に設定してください。（P24）

別売品のご紹介

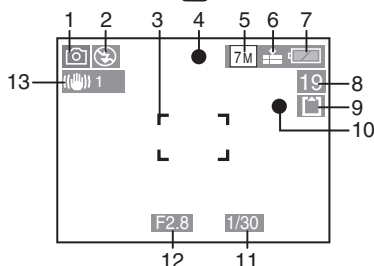
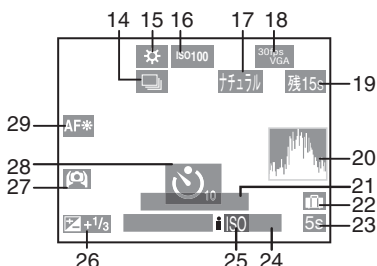
品番： DMW-AC6 **品名：** AC アダプター	
品番： DMW-CLS75 **品名：** ソフトケース	

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

液晶モニターの表示

液晶モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

通常撮影モード [ ] 時（お買い上げ時）

撮影時（各種設定後）

■撮影時

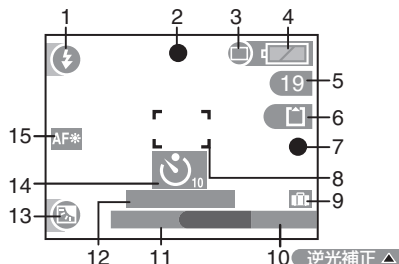
1 撮影モード
2 フラッシュモード（P40）
3 AF エリア（P26）
4 フォーカス（P26）
5 記録画素数（P63）
6 クオリティ（P63）
手ブレ警告（P28）：
7 電池残量（P25）
8 記録可能枚数（P109）
9 内蔵メモリー（P17）：IN
カード（P17）：
10 記録動作
11 シャッタースピード（P26）
12 絞り値（P26）
13 手ブレ補正（P65）
14 連写（P66）
15 ホワイトバランス（P61）
16 ISO 感度（P62）
最高 ISO 感度（P45）：
ISOMAX 400 / ISOMAX 800 / ISOMAX 1250
17 カラーモード（P67）
18 画質設定（P54）：
30fps VGA / 10fps VGA / 30fps QVGA / 10fps QVGA（4:3）
30fps 16:9 / 10fps 16:9（16:9）
19 記録可能時間（P54）：残XXhXXmXXs
20 ヒストグラム（P38）
21 月齢 / 年齢（P50、51）
シーンモードの［赤ちゃん］や［ペット］で起動した場合などに約 5 秒間表示されます。
トラベル経過日数（P56）
22 トラベル日付（P56）
23 記録経過時間（P54）
24 現在日時 / 旅行先設定（P58）：
起動時 / 時計設定後 / 再生モードから撮影モードへ切り換え後などに、約 5 秒間表示されます。
ズーム（P31）/EX 光学ズーム（P31）/
イージーズーム（P32）/
デジタルズーム（P33）：

EZ W T 1X

25 インテリジェント ISO（P45）
26 露出補正（P44）
27 ハイアングルモード（P39）
28 セルフタイマーモード（P43）
29 AF 補助光（P67）

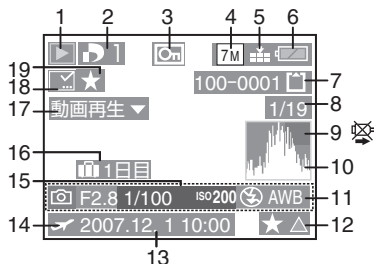
Q&A その他

かんたんモード時

再生時

■かんたんモード時

1 フラッシュモード（P40）
2 フォーカス（P26）
3 画質設定（P29）
　手ブレ警告（P28）：
4 電池残量（P25）
5 記録可能枚数（P109）
6 内蔵メモリー（P17）：(IN)
　カード（P17）：[カード]
7 記録動作
8 AF エリア（P26）
9 トラベル日付（P56）
10 逆光補正操作（P30）
11 現在日時
　起動時 / 時計設定後 / 再生モードから撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。
　ズーム（P31）/EX 光学ズーム（P31）/イージーズーム（P32）：
　EZ W T 1X
12 トラベル経過日数（P56）
13 逆光補正（P30）
14 セルフタイマーモード（P43）
15 AF 補助光（P67）

■再生時

1 再生モード（P35）
2 DPOF プリント枚数（P78）
3 プロテクト（P80）
4 記録画素数（P63）
5 クオリティ（P63）
　動画時（P71）：

　• かんたんモード時（P29）
　　：引き伸ばし
　　：L サイズ（3:2）
　　：E メール
6 電池残量（P25）
7 フォルダー・ファイル番号（P87）
　内蔵メモリー（P17）：(IN)
　カード（P17）：[カード]
8 画像番号 / トータル枚数
9 ケーブル切断禁止アイコン（P92）
　動画記録時間（P71）：XXhXXmXXs
10 ヒストグラム（P38）
11 撮影情報
12 お気に入り設定（P74）
　再生経過時間（P71）：XXhXXmXXs
13 撮影日時
14 旅行先設定（P58）
15 月齢 / 年齢（P50、51）
16 トラベル経過日数（P56）
17 動画再生（P71）
18 日付焼き込み済み表示（P76）
19 お気に入り表示（P74）

メッセージ表示

確認 / エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
オキシライド乾電池モードに設定されています	はじめて電池を入れたときや、電池残量がなくなって電池を交換したときなどに、このメッセージが表示されます。メッセージと使用している電池が異なる場合は、セットアップメニューの［電池設定］（P22）で使用する電池を設定してください。
アルカリ乾電池 / ニッケル水素電池モードに設定されています	
このメモリーカードはロックされています	SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。（P17、81、85）
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから（P80）削除や上書きをしてください。
削除できない画像があります / この画像は削除できません	DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。削除したい場合は、パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P85）してください。
設定枚数をこえました	複数削除や [日付焼き込み] の複数設定時に一度に設定できる枚数を超えています。 一度削除または日付情報を焼き込んでから、操作を行ってください。
	お気に入り設定が 999 枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF 規格に準拠していない画像は DPOF 設定できません。
内蔵メモリー残量が不足しています / メモリーカード残量が不足しています	内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。 • 内蔵メモリーからカードへコピーしている場合（一括コピー）は、カードの空き容量がなくなるまで画像はコピーされています。
コピーできない画像がありました / 画像をコピーすることができませんでした	以下の画像はコピーされません。 • コピーする画像と同じ名前の画像がコピー先にある場合 • DCF 規格に準拠していないファイル また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーされない場合があります。

メッセージ	実行していただきたいこと
内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか？	パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。 本機でフォーマット（P85）し直してください。 データは消去されます。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	本機では認識できないファイル形式です。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P85）し直してください。
電源を入れ直してください	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー カードのパラメーターが異常です	本機に対応したカードをお使いください。（P9、17） • 4 GB以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。
メモリーカードエラー カードを確認してください	カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 以下の場合にもこの表示が出ます。 • miniSDアダプターにminiSD カードを入れずに本機に挿入したとき 必ずアダプターに miniSD カードを入れてお使いください。
リードエラー カードを確認してください	データの読み込みに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。カードが確実に挿入されていることを確認してから、もう一度再生してください。
ライトエラー カードを確認してください	データの書き込みに失敗しました。電源を [OFF] にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源を [ON] にして記録してください。またはカードが破壊されている可能性があります。
カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました	• [画質設定]を[30fpsVGA]または[30fps16:9]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 • カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。

メッセージ	実行していただきたいこと
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。（P87） パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P85）してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの [番号リセット] を実行すると、フォルダー番号が 100 にリセットされます。（P23）
4:3TV 用で出力します / 16:9TV 用で出力します	• 本機にビデオケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU/SET] ボタンを押してください。 • TV アスペクトを変更したい場合は、セットアップメニューの [TV アスペクト] で変更してください。（P24） • USB接続ケーブルが本機のみに接続された場合も、このメッセージが表示されます。USB 接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。（P86、89）
プリンターと接続しなおしてください	パソコンと接続中に、モードダイヤルをプリントモード [ ] に変更すると表示されます。 プリンターと接続する場合は、[ ] 以外のモードに変更し、データ転送中でないことを確認してください。（データ転送中は、本機の液晶モニターに「通信中」と表示されます）
モードが変わりました USB 接続ケーブルを抜いてください	プリンターと接続中にモードダイヤルをプリントモード [ ] 以外に合わせると表示されます。 USB 接続ケーブルを抜く前に、モードダイヤルを [ ] に戻してください。プリント中の場合は、プリントを中止してから抜いてください。

Q & A　故障かな？と思ったら

メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すと、症状が改善する場合があります。
セットアップメニューの［設定リセット］を実行してください。（P24）

■電池、電源について

Q（質問）	A（回答）
電池残量がいっぱいなのにすぐに電源が切れる。 **新しい電池を入れても電池残量が少ない。**	使用する電池の種類と電池設定が合っていない場合、電池残量が正しく表示されない、使用中に突然動作しなくなるなどの症状が発生することがありますが、故障ではありません。 また、消耗した電池を使用した場合や、電池の銘柄や使用温度によっても電池残量が正しく表示されないことがあります。 • セットアップメニューの［電池設定］（P22）をご確認ください。
電源を［ON］にしても動作しない。	電池は正しく入っていますか？
	ニッケル水素電池をお使いの場合、十分に充電された電池をお使いください。
電源を［ON］にしているのに、液晶モニターが消灯している。	パワーセーブ（P22）またはエコモード（P23）が働いていませんか？シャッターボタンを半押しして、解除してください。
	電池が消耗していませんか？容量が十分にある電池と交換してください。（ニッケル水素電池をお使いの場合は充電してください）
電源を［ON］にしてもすぐに切れる。	• 電池が消耗していませんか？容量が十分にある電池と交換してください。（ニッケル水素電池をお使いの場合は充電してください） • 電源を入れたまま放置していると電池は消耗します。パワーセーブ（P22）やエコモード（P23）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

■撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？
	内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？ 撮影する前にいくつかの画像を削除してください。（P35）
撮影した画像が白っぽい。 **レンズが汚れている。**	レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。汚れたときは、電源を入れ、レンズ鏡筒（P11）を出した状態で固定し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	露出が正しく補正されているか確認してください。（P44）

つづく

■撮影について

Q（質問）	A（回答）
1 回の撮影で、2 ～ 3 枚の画像が撮れるときがある。	撮影メニューの［連写］を [ON] にしていませんか？（P66）
ピントが合わない。	撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。モードダイヤルを回して、被写体までの距離に応じたモードにしてください。
	ピントが合う範囲から外れていませんか？（P26、46）
	ピントではなく、画像のブレではありませんか？
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、本機を両手でしっかり持って撮影することをおすすめします。（P26）
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	ISO 感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？ （お買い上げ時の設定では、ISO 感度が [AUTO] になっているため、屋内などの撮影では ISO 感度が高くなります） • ISO 感度を低くしてください。（P62） •［カラーモード］を［ナチュラル］にしてください。（P67） • 明るい場所で撮影してください。
	シーンモードの［高感度］（P52）では、撮影した画像が少し粗くなりますが、高感度処理のためで異常ではありません。
撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	蛍光灯下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
シャッターボタンの半押し時や動画撮影時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじが出る。	スミアという現象です。これは CCD の特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。また、黒や緑の縦すじが出たり、スミアの周辺に横引き状のムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 動画撮影では記録されますが、静止画像には記録されません。
動画撮影が途中で止まる。	マルチメディアカードを使用していませんか？本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
	•［画質設定］を[30fpsVGA]または[30fps16:9]に設定している場合は、パッケージなどに「10 MB/s」以上の記載がある高速タイプのカードを使用することをおすすめします。 • カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。

■液晶モニターについて

Q（質問）	A（回答）
電源 [ON] 中に、液晶モニターがときどき消える。	フラッシュ撮影直後ですか？フラッシュ充電中は液晶モニターが消灯します。
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	電源周波数が 50 Hz の地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合がありますが、これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	液晶モニターの明るさを正しく調整してください。（P23）
	ハイアングルモードになっていませんか？（P39）
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像には影響しません。

■フラッシュについて

Q（質問）	A（回答）
フラッシュが発光しない。	発光禁止 [ ] に設定していませんか？フラッシュモードを変更してください。（P40）
	動画撮影モード [ ]、シーンモードの［風景］（P48）、［夜景］（P49）、［夕焼け］（P50）、［高感度］（P52）、［星空］（P52）、［花火］（P53）、［空撮］（P53）を選択しているときは、発光しません。
フラッシュが２回発光する。	赤目軽減（P40）にしている場合、人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。

つづく

■再生について

Q（質問）	A（回答）
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	本機では縦に構えて撮影した画像を自動的に回転して表示する機能があります。（本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、本機が縦に構えて撮影したと認識する場合があります） • ［回転表示］（P75）を［OFF］にすると画像は回転せずに表示されます。 • ［画像回転］（P75）で画像を回転することができます。
再生できない。	モードダイヤルは再生［▶］に設定されていますか？
	内蔵メモリーまたはカードに再生できる画像はありますか？ • カードが入っていない場合は、内蔵メモリーの画像データ、入っている場合はカードの画像データが表示されます。（P17）
フォルダー・ファイル番号が［—］で表示され、画面が黒くなる。	パソコンで編集した画像、または当社製以外のデジタルカメラで撮影された画像ではないですか？撮影直後に電池を抜いたり、消耗した電池で撮影すると、まれに左記のような画像が記録されることがあります。 • 左記のような画像を削除するにはフォーマット（P85）してください。（他の画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください）
カレンダー再生をすると、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	パソコンで編集した画像または他機で撮影した画像ではないですか？このような画像は、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。（P69）
	本機の時計設定を正しい日時に設定して撮影しましたか？（P18） 例えば、本機の時計設定がパソコンに設定されている日時と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像をカードに書き戻して、本機でカレンダー再生した場合など、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。

■テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	正しく接続されていますか？
	テレビの入力切換を外部入力にしてください。
	本機の［ビデオ出力］を［NTSC］に設定してください。（P24）
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	テレビの機種によっては、表示される領域が狭く、画像が縦や横に伸びたり、画像の上下や左右が切れて表示されることがあります。異常ではありません。

■テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビで動画の再生ができない。	カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ ビデオケーブル（付属）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。（P93）
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	本機の TV アスペクトを確認してください。（P24）
パソコンに接続して画像を転送できない。	正しく接続されていますか？
	パソコンが本機を正常に認識していますか？
	モードダイヤルを [ ] 以外にしてください。（P86）
パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）	USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で USB 接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	プリンターは PictBridge に対応していますか？対応していないプリンターではプリントできません。（P89）
	モードダイヤルを [ ] に合わせ直してください。（P89）
プリントすると、画像の端が切れる。	• トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください） • お店によっては、アスペクト（P62）を [16:9] に設定して撮影した画像を 16：9 のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

■その他

Q（質問）	A（回答）
メニューの言語が英語の表示になっている。	[MENU/SET] ボタンを押してセットアップメニュー[ ] を表示し、[ ] アイコンを選んで、言語設定をしてください。（P24）
オートレビューの設定ができない。	連写（P66）、動画撮影モード [ ]（P54）になっていませんか？これらの設定のときは、セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。

■その他

Q（質問）	A（回答）
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF 補助光ランプ（P67）が赤く点灯します。
AF 補助光が点灯しない。	撮影メニューの [AF 補助光] を [ON] にしていますか？（P67）
	暗い場所での撮影ですか？明るい場所では AF 補助光は点灯しません。
	シーンモードの［風景］（P48）、［夜景］（P49）、［夕焼け］（P50）、［花火］（P53）、［空撮］（P53）を選択しているときは、AF 補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので異常ではありません。
時計が合っていない。	本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。（P18）
	時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0 0:00] の日付が記録されます。
画像がわずかにゆがんで表示される。	画像はズーム倍率によってわずかにゆがんで撮影されます。これをディストーション（歪曲収差）といいます。広角にして被写体に近づいて撮影するほどディストーションは大きくなりますが、異常ではありません。
画像の周囲に、実際にはない色が付いている。	画像はズーム倍率によって被写体の輪郭などにわずかに着色して撮影されることがあります。これを色収差といいます。望遠にしたときに色収差は目立つことがありますが、異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。（P87）
ファイル番号がさかのぼって記録される。	電源を [OFF] にせず電池を抜き差しした場合、撮影していたフォルダー・ファイル番号を記憶することができません。従って、再度電源を [ON] にして撮影した場合、ファイル番号がさかのぼって記録される場合があります。
画像が黒く表示される。	パソコンで回転された画像や編集された画像は、再生モード時（P35）、マルチ再生時（P68）、カレンダー再生時（P69）に黒く表示されることがあります。

使用上のお願い

■本機について

**本機を落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力をかけない**

- 強い衝撃が加わるとレンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障の原因になります。
- ストラップにぶら下げたアクセサリーなどで強い圧力がかかると、液晶モニターが壊れる原因となりますのでお気をつけてください。
- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響をおよぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、電池や AC アダプター（別売：DMW-AC6）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、電池や AC アダプター（別売：DMW-AC6）を外しておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。
- 台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

■液晶モニターについて

- **液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。**
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

つづく

■レンズについて
- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

■電池について
長期間使用しないときは、必ず電池を取り出す
- 極端に低温、高温になるところでは、端子がさびたりして故障の原因となります。

電池を誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する
- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

出かけるときは予備の電池を準備する
- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますのでお気をつけください。

不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
- ホームページ
  http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- ⊕端子、⊖端子をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Ni-MH

充電式
ニッケル水素
電池使用

■カードについて
カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない
- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運び時はケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■長期間使用しないときは
- 電池は涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度 : 40%～ 60%です）
- 電池とカードは必ず本機から取り出してください。
- 電池を入れたままにしておくと、本機の電源が ［OFF］ であっても、絶えず微少電流が流れているので、電池が放電します。（ニッケル水素電池については 14 ページを参照してください）

• 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

■画像データについて

• 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■三脚について

• 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
• 三脚使用時は、電池が取り出せないことがあります。
• 三脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

記録可能枚数・記録可能時間

- 記録可能枚数・時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。
- 太枠で囲った部分は、かんたんモード [♥] 時の記録可能枚数です。（P29）

■記録可能枚数

アスペクト設定		4:3					
記録画素数		7M/□：7M (3072 × 2304 画素)		5M：5M EZ (2560 × 1920 画素)		3M：3M EZ (2048 × 1536 画素)	
クオリティ		ファイン/□	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
内蔵メモリー (約 27 MB)		7 枚	14 枚	10 枚	21 枚	16 枚	33 枚
カード	16 MB	3 枚	7 枚	5 枚	10 枚	8 枚	16 枚
	32 MB	7 枚	16 枚	11 枚	23 枚	18 枚	36 枚
	64 MB	16 枚	34 枚	24 枚	48 枚	38 枚	75 枚
	128 MB	35 枚	69 枚	50 枚	99 枚	78 枚	150 枚
	256 MB	68 枚	135 枚	98 枚	190 枚	150 枚	290 枚
	512 MB	135 枚	270 枚	195 枚	380 枚	300 枚	590 枚
	1 GB	270 枚	540 枚	390 枚	770 枚	600 枚	1180 枚
	2 GB	550 枚	1090 枚	790 枚	1530 枚	1220 枚	2360 枚
	4 GB	1090 枚	2150 枚	1560 枚	3010 枚	2410 枚	4640 枚

アスペクト設定		4:3					
記録画素数		2M：2M EZ (1600 × 1200 画素)		1M：1M EZ (1280 × 960 画素)		0.3M/□：0.3M EZ (640 × 480 画素)	
クオリティ		ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード/□
内蔵メモリー (約 27 MB)		27 枚	53 枚	41 枚	78 枚	130 枚	210 枚
カード	16 MB	13 枚	27 枚	21 枚	40 枚	68 枚	110 枚
	32 MB	29 枚	58 枚	45 枚	85 枚	145 枚	230 枚
	64 MB	61 枚	120 枚	93 枚	175 枚	290 枚	480 枚
	128 MB	125 枚	240 枚	190 枚	350 枚	600 枚	970 枚
	256 MB	240 枚	470 枚	370 枚	690 枚	1170 枚	1900 枚
	512 MB	480 枚	940 枚	730 枚	1370 枚	2320 枚	3770 枚
	1 GB	970 枚	1880 枚	1470 枚	2740 枚	4640 枚	7550 枚
	2 GB	1920 枚	3610 枚	2920 枚	5120 枚	8780 枚	12290 枚
	4 GB	3770 枚	7090 枚	5740 枚	10050 枚	17240 枚	24130 枚

アスペクト設定		3:2			
記録画素数		6M : 6M (3072 × 2048 画素)		2.5M / : 2.5M EZ (2048 × 1360 画素)	
クオリティ					/
内蔵メモリー (約 27 MB)		8 枚	16 枚	19 枚	37 枚
カード	16 MB	3 枚	8 枚	9 枚	18 枚
	32 MB	8 枚	18 枚	20 枚	40 枚
	64 MB	19 枚	38 枚	43 枚	83 枚
	128 MB	39 枚	78 枚	88 枚	165 枚
	256 MB	77 枚	150 枚	170 枚	330 枚
	512 MB	150 枚	300 枚	340 枚	650 枚
	1 GB	300 枚	600 枚	680 枚	1310 枚
	2 GB	620 枚	1220 枚	1360 枚	2560 枚
	4 GB	1230 枚	2410 枚	2680 枚	5020 枚

アスペクト設定		16:9			
記録画素数		5.5M : 5.5M (3072 × 1728 画素)		2M : 2M EZ (1920 × 1080 画素)	
クオリティ					
内蔵メモリー (約 27 MB)		9 枚	19 枚	25 枚	48 枚
カード	16 MB	4 枚	10 枚	12 枚	25 枚
	32 MB	10 枚	21 枚	27 枚	53 枚
	64 MB	22 枚	45 枚	57 枚	105 枚
	128 MB	46 枚	92 枚	115 枚	220 枚
	256 MB	91 枚	180 枚	230 枚	430 枚
	512 MB	180 枚	350 枚	450 枚	860 枚
	1 GB	360 枚	710 枚	910 枚	1720 枚
	2 GB	730 枚	1420 枚	1800 枚	3410 枚
	4 GB	1450 枚	2800 枚	3540 枚	6700 枚

■記録可能時間（動画撮影時）

アスペクト設定		4:3			
画質設定		30fpsVGA	10fpsVGA	30fpsQVGA	10fpsQVGA
内蔵メモリー（約 27 MB）		—	—	53 秒	2分 40 秒
カード	16 MB	6 秒	26 秒	26 秒	1 分 23 秒
	32 MB	17 秒	59 秒	59 秒	2 分 55 秒
	64 MB	39 秒	2 分	2 分	6 分
	128 MB	1 分 23 秒	4 分 10 秒	4 分 10 秒	12 分 20 秒
	256 MB	2 分 45 秒	8 分 10 秒	8 分 10 秒	24 分
	512 MB	5 分 30 秒	16 分 20 秒	16 分 20 秒	47 分 50 秒
	1 GB	11 分	32 分 50 秒	32 分 50 秒	1 時間 35 分
	2 GB	22 分 30 秒	1 時間 7 分	1 時間 7 分	3 時間 15 分
	4 GB※	44 分 20 秒	2 時間 11 分	2 時間 11 分	6 時間 22 分

アスペクト設定		16:9	
画質設定		30fps16:9	10fps16:9
内蔵メモリー（約 27 MB）		—	—
カード	16 MB	5 秒	22 秒
	32 MB	14 秒	50 秒
	64 MB	33 秒	1 分 46 秒
	128 MB	1 分 11 秒	3 分 35 秒
	256 MB	2 分 20 秒	7 分
	512 MB	4 分 40 秒	14 分
	1 GB	9 分 20 秒	28 分 10 秒
	2 GB	19 分 20 秒	57 分 30 秒
	4 GB※	38 分	1 時間 53 分

※動画を連続で撮影できるのは、最大 2 GB までです。
　画面には、2 GB で記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。

◯◯お知らせ◯◯

- 液晶モニターに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- シーンモードの［高感度］（P52）では、EX 光学ズームが働きませんので、記録画素数の [EZ] は表示されません。

仕様

電源	DC 3.0 V
消費電力	1.5 W（撮影時） 0.6 W（再生時）

カメラ有効画素数	720 万画素
撮像素子	1/2.5 型 CCD　総画素数 738 万画素、 原色カラーフィルター
レンズ	光学　3 倍ズーム　f=5.8 mm ～ 17.4 mm（35 mm フィルムカメラ換算：35 mm ～ 105 mm）/ F2.8 ～ F5.0
デジタルズーム	最大 4 倍
EX 光学ズーム	最大 4.5 倍（記録画素数[3M]以下のモード時）
フォーカス	通常 / マクロ（モードダイヤル） 5 点 /1 点 (H)/1 点
撮影範囲	通常： 50 cm ～∞ マクロ / かんたん / インテリジェント ISO 感度 / 動画： 5 cm（W 端時）/30 cm（T 端時）～∞ シーンモード：上記設定と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	アスペクト [4:3] 設定時 640 × 480 画素 (カード使用時のみ)/320 × 240 画素 アスペクト [16:9] 設定時 848 × 480 画素 (カード使用時のみ) 30 コマ / 秒、10 コマ / 秒　音声なし
連写撮影 　**連写速度** 　**連写枚数**	 カードの種類、記録画素数、クオリティによって変化 内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存
ISO 感度	オート / 100/200/400/800/1250 シーンモードの［高感度］：3200
シャッタースピード	8 秒～ 1/2000 秒 シーンモードの [星空]：15 秒、30 秒、60 秒 動画：1/30 秒～ 1/6400 秒
ホワイトバランス	オートホワイトバランス / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / セットモード
露出	プログラム AE 露出補正（1/3 EV ステップ、－ 2 EV ～ ＋ 2 EV）
測光方式	評価測光

液晶モニター	2.5 型 TFT 液晶（約 11.5 万画素） （視野率約 100%）
フラッシュ	撮影可能範囲：約 30 cm ～約 4.7 m （W 端、[ISO AUTO] 設定時）
	オート / 赤目軽減オート / 強制発光（赤目軽減強制発光）/ 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
記録メディア	内蔵メモリー（約 27 MB）/ SD メモリーカード / SDHC メモリーカード / マルチメディアカード（静止画のみ対応）
記録画素数 静止画 動画	 アスペクト [4:3] 設定時 3072 × 2304 画素 /2560 × 1920 画素 / 2048 × 1536 画素 /1600 × 1200 画素 / 1280 × 960 画素 /640 × 480 画素 アスペクト [3:2] 設定時 3072 × 2048 画素 /2048 × 1360 画素 アスペクト [16:9] 設定時 3072 × 1728 画素 /1920 × 1080 画素 アスペクト [4:3] 設定時 640 × 480 画素 (カード使用時のみ)/320 × 240 画素 アスペクト [16:9] 設定時 848 × 480 画素 (カード使用時のみ)
クオリティ（圧縮率）	ファイン / スタンダード
記録画像ファイル形式 静止画 動画	 JPEG（DCF 準拠、Exif2.21 準拠）、DPOF 対応 QuickTime Motion JPEG
インターフェース デジタル アナログビデオ	 USB 2.0（Full Speed） NTSC/PAL コンポジット（メニュー切り換え）
端子 DIGITAL/V.OUT DC IN	 兼用ジャック（8 pin） タイプ 1 ジャック
寸法	幅 93.7 mm × 高さ 62.0 mm × 奥行き 29.7 mm （突起部除く）
質量	約 138 g（本体） 約 184 g（カード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間 (「本体」にはソフトウェアの内容は含みません)

■補修用性能部品の保有期間
当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ
品　番	DMC-LS75
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

つづく

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東北地区

青森	青森市大字浜田 字豊田364 ☎ (017)775-0326	**岩手**	盛岡市厨川5丁目 1-43 ☎ (019)645-6130	**山形**	山形市平清水1丁目 1-75 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市東通り2丁目 1-7 ☎ (018)831-7833	**宮城**	仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117	**福島**	郡山市亀田1丁目 51-15 ☎ (024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭 3丁目3-19 ☎ (028)689-2555	**埼玉**	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	**山梨**	甲府市宝1丁目4-13 ☎ (055)222-5171
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎ (027)254-2075	**千葉**	千葉市中央区末広 5丁目9-5 ☎ (043)208-6034	**神奈川**	横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
茨城	つくば市筑穂3丁目 15-3 ☎ (029)864-8756	**東京**	東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780	**新潟**	新潟市東明1丁目 8-14 ☎ (025)286-0171

中部地区

石川	金沢市横川3丁目20 ☎ (076)280-6608	**長野**	松本市寿北7丁目3-11 ☎ (0263)86-9209	**岐阜**	岐阜市中鶉4丁目42 ☎ (058)278-6720
富山	富山市根塚町1丁目 1-4 ☎ (076)424-2549	**静岡**	静岡市葵区千代田 7丁目7-5 ☎ (054)287-9000	**高山**	高山市花岡町3丁目 82 ☎ (0577)33-0613
福井	福井市問屋町2丁目 14 ☎ (0776)25-5001	**愛知**	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	**三重**	津市久居野村町 字山神421 ☎ (059)255-1380

近畿地区

滋賀	栗東市霊仙寺1丁目 1-48 ☎ (077)582-5021	**大阪**	大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	**和歌山**	和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都	京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎ (075)646-2123	**奈良**	大和郡山市筒井町 800番地 ☎ (0743)59-2770	**兵庫**	神戸市中央区 琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	**山口** 山口市小郡下郷220-1 ☎(083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236	

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253		

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067	**大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0906

さくいん

QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMC-LS75
販　売　店　名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ

〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

H1206HM0